



Tokyo College of Music

GUIDEBOOK 2026



東京音楽大学



音楽のチカラを信じよう。

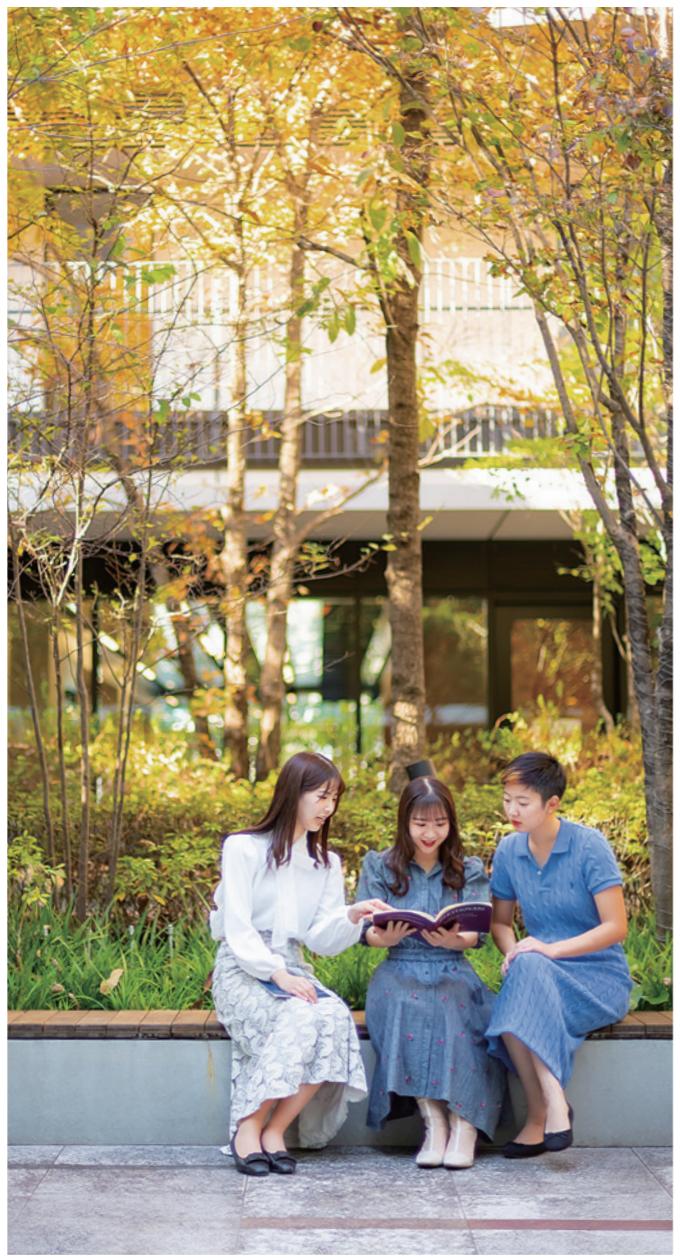
「音楽には、人の心を動かし、人生を豊かにするチカラがある」
それは、特別な瞬間だけでなく、日々の暮らしの中で
私たちを支え続ける存在であると、東京音楽大学は確信しています。
本学での学びを通して、挑戦し、悩み、仲間と高め合う日々は、
やがて未来を切り拓く大きなチカラとなるはずです。

音楽学部音楽学科

声楽専攻 声楽芸術コース	10
声楽特別演奏家コース	
器楽専攻 鍵盤楽器 ピアノ	12
ピアノ演奏家コース	
ピアノ・創作コース	
チェンバロ	
オルガン	
器楽専攻 弦楽器	14
器楽専攻 管打楽器	16
作曲指揮専攻 作曲「芸術音楽コース」	18
作曲指揮専攻 作曲「ミュージック・メディアコース」	20
作曲指揮専攻 指揮	22
音楽文化教育専攻	24
ミュージック・リベラルアーツ専攻	26
吹奏楽アカデミー専攻	28
ミュージックビジネス・テクノロジー専攻	30

学長メッセージ	4
ビジョン/建学の精神と理念/学校組織図/沿革	6
キャンパス紹介	8
大学院音楽研究科	32
付属機関	33
カリキュラム構成	34
教職課程	36
グローバル教育/マスタークラス	38

学生サポート/奨学金/学費/学生寮/ほか	40
コンクール	42
キャリア支援	44
音楽を通した地域・社会との交流	47
4者4様! TCM People	48
東京音大生150人に聞いた!なんでもアンケート	50
卒業生メッセージ	52
教員紹介	54



音に満ちあふれる日々。その学びが、未来を奏でる。





野平一郎 学長

東京藝術大学音楽学部作曲科、同大学院修士課程を経て、1983年パリ国立高等音楽院にてブルミエ・プリ取得。
これまでに、尾高賞、京都音楽賞、サントリー音楽賞、ENEOS音楽賞、日本芸術院賞等数々の賞を受賞。2018年 紫綬褒章受章。
現在、静岡音楽館AOI芸術監督、東京文化会館音楽監督、仙台国際音楽コンクールピアノ部門審査委員長、モナコ・ピエール皇太子
財団音楽評議員。東京藝術大学名誉教授。
2023年4月より東京音楽大学学長。

音楽を学ぶことで、
人間としての力を高めてほしい。

東京音楽大学によぎこそ。

音楽を学ぶことは、他のどの学問や芸術の他の表現領域と同様、長い道のりです。それは皆さんが生きていくこととほとんど同じことだと言えるでしょう。

演奏、創作、研究、このどの分野においても我われ音楽家は過去を学び、現在を生きながら、未来を切り拓こうとします。このためには、まず人間としての総合的な力、基礎的な力、それと同時になによりも鋭い感性を身につけていくことが重要となります。

創造的な活動を行なっていくためには、健康でいること、健全な精神を持っていることもとても重要です。なによりも皆さんが蓄えている若いエネルギー、情熱を存分にぶつけてください。そうすれば自ずと道が切り開かれて行くはずです。

ぜひ本学でご自身の新たな可能性を発見してください。もし皆さんが音楽の学習を通じて今後より幅広い社会へと飛び立っていくとしても、以上のことはとても大切なことです。

東京音楽大学では、すてきなキャンパスライフが待っていることでしょう。すばらしい先生方のレッスンと共に、音楽の専門だけにとどまらない多種多様な授業も用意されています。自分の専攻以外のことを知るすばらしいチャンスにもなりますし、国際的な感覚も存分に磨いていただく環境が整っています。

そして今、東京音楽大学はさらなる飛躍をとげようとしています。ヨーロッパの音楽大学との新しい提携も増えていく中、2027年には私立の音楽大学としてははじめて創立120周年を迎える、さまざまな行事が予定されています。また2024年度からは新たにミュージックビジネス・テクノロジー専攻も増え、今後さらに音楽において今までにない未開拓分野の発展を見据えた新しい教育戦略も視野に入れています。常に時代との協働、結びつきを模索し展開する本学に注目していただき、人間として、そして音楽家としての力をぜひ本学において高めていってほしいと切に願っております。



野平一郎

東京音楽大学ビジョン

— 音楽文化の新たな地平を拓く —

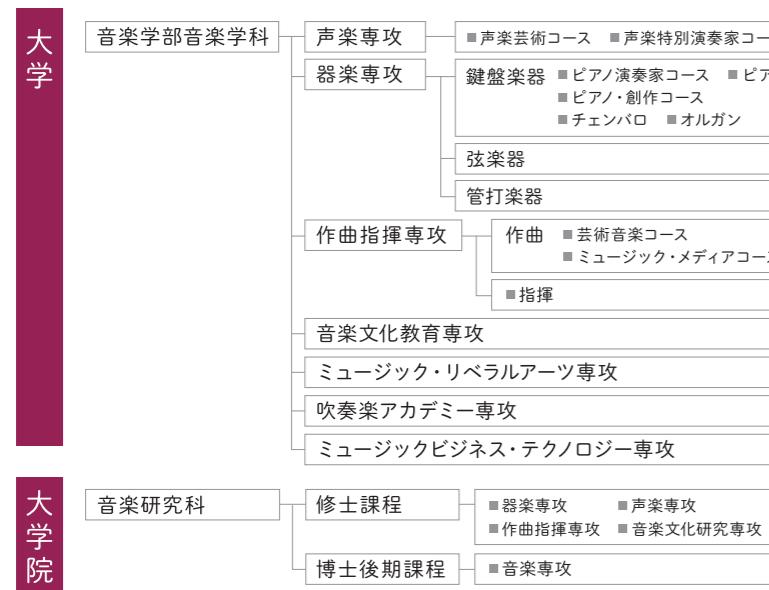
1. 全学を挙げた先進的な活動により、音楽文化の新たな地平を拓きます。
2. 変化し続ける社会を見据えて、音楽で感動を与え、音楽で明日をつくる人材を育成します。
3. 音楽文化の多角的な研究を展開し、広く成果を発信します。
4. 双方向の国際交流を活発化し、多文化が共存するキャンパスを目指します。
5. 銳意音楽活動を展開し、地域社会の活性化、文化力の向上に積極的に貢献します。
6. クリエイティブ・キャンパスを創出・運営し、構成員が自ら成長し続ける大学を実現します。

建学の精神と理念

東京音楽大学は、鈴木米次郎により1907年に設立された東洋音楽学校を前身とする、日本で最も古い歴史をもつ私立音楽大学です。

本学は「音楽を通して社会に貢献する」という理念に基づき、西洋音楽に関する学問の探求と高度な音楽技量の修得を通じて教養豊かな音楽家および音楽教育者を育成してまいりました。この建学の精神は「アカデミズムと実学の両立」「音楽による社会貢献」「国際性」という教育の基本理念として、現在の学則と教育にも反映され、その結果、本学は国内外の著名なコンクールやオーディションなどの入賞者、入選者を例年多数輩出し、音楽界、教育界だけでなく、国内外の経済界にも優秀な人材を送り出しています。

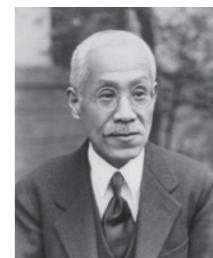
学校組織図(教育・研究組織)



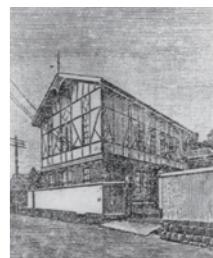
進化し続ける東京音楽大学

沿革

- 1907年(明治40年) 鈴木米次郎が神田裏猿楽町に東洋音楽学校を創立
- 1908年(明治41年) 管弦楽部設置
- 1924年(大正13年) 豊島区南池袋(現)に校舎移転
- 1949年(昭和24年) 付属高等学校開設
- 1950年(昭和25年) 付属幼稚園開設
- 1954年(昭和29年) 東洋音楽短期大学設立
- 1963年(昭和38年) 東洋音楽大学(4年制)に移行
- 1969年(昭和44年) 東京音楽大学に名称変更
- 1974年(昭和49年) 付属音楽教室開設
- 1975年(昭和50年) 付属民族音楽研究所開設
- 1993年(平成5年) 大学院音楽研究科修士課程設置
- 2007年(平成19年) 創立100周年
- 2014年(平成26年) 記念本館(A館)竣工
- 2017年(平成29年) 大学院音楽研究科博士後期課程設置
- 2019年(平成31年) ミュージック・リベルアルアーツ専攻新設
- 2020年(令和2年) 中目黒・代官山キャンパス開校
- 2021年(令和3年) 吹奏楽アカデミー専攻新設
- 2024年(令和6年) 付属高等学校が池袋キャンパスに移転
- 作曲指揮専攻
- 作曲「ミュージック・メディアコース」改編
- 池袋キャンパスに新学生寮開寮
- ミュージックビジネス・テクノロジー専攻新設



創立者 鈴木米次郎



創立当時の校舎



1930年代の演奏会風景



2009年 ヨーロッパ・チャリティー演奏会
ムジークフェインザル(ウィーン)



2022年 東京音楽大学創立115周年特別演奏会
サントリーホール



キャンパス紹介

都心に2つのキャンパス、音楽学修に最適な環境。



中目黒・代官山キャンパス

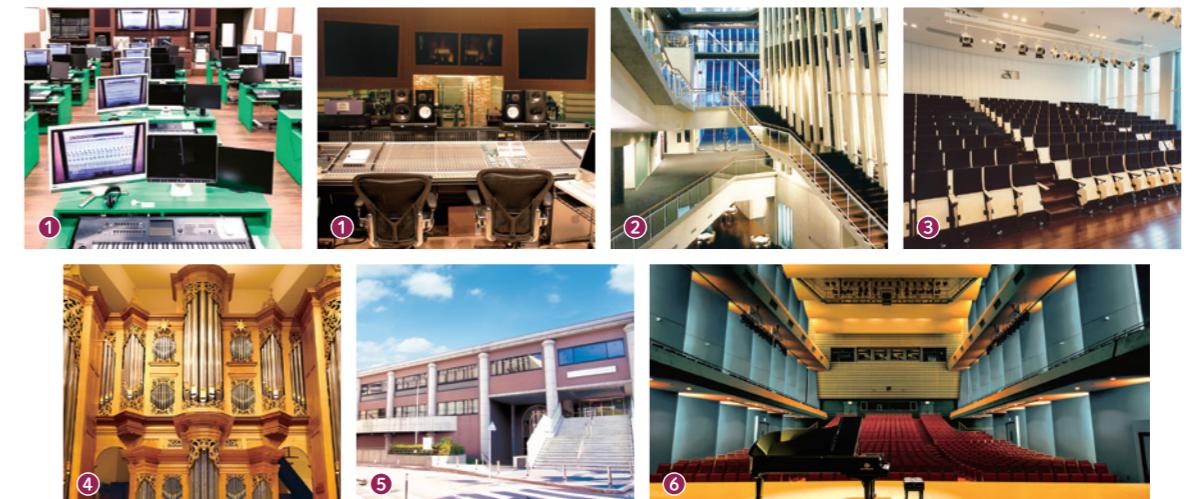


中目黒駅と代官山駅からそれぞれ徒歩約5分という立地のよさに加え、都心でありながら豊かな緑の中で芸術性・創造性を育む環境です。地域の方にもお越しいただける演奏会が多数開催されているTCMホール、最先端の音響設備を備えたTCMスタジオ、防音性に優れたレッスン室や練習室、クリエイティブラボなど、音楽学修に最適な環境が学修・創作・研究意欲を刺激します。本学最新の取り組みを社会に発信する拠点です。

グッドデザイン賞、第61回BCS賞、2021年日本コンクリート工学会賞受賞

①TCMホール：音が回遊し包まれるように設計されています。ソロ、デュオはもちろん、室内オーケストラも最適な響きで演奏、鑑賞することができます。②レッスン室：80室以上あるレッスン室は、木のぬくもりを感じる最適な音響を備えています。音の反射、拡散、吸音のバランスを考慮した穴あき特殊壁。③キーボード室：キーボードハーモニーやピアノ・プラクティカル・トレーニングなどの授業が行われています。④練習室：レッスン室同様に最適な音響を備えています。2キャンパス合わせていつでも練習できる部屋数を有し、練習に集中できます。⑤コンピューター室：Macを活用した授業を開講しています。⑥TCMスタジオ：全専攻の学生が利用できるレコーディングスタジオです。最先端の録音機材を採用しています。⑦学生レストラン：「音楽の森」と「みどりの鎌倉街道」に囲まれた、自然を感じる安らぎのあるレストランです。⑧みどりの鎌倉街道：第28回緑の環境プラン大賞特別企画『おもてなしの庭』部門の大賞を受賞。

池袋キャンパス



池袋駅から徒歩約15分、地下鉄副都心線雑司が谷駅から徒歩約5分、社寺が散在し、ノスタルジーを感じさせる街並みに立地しています。806席ある100周年記念ホールを擁する本館では、明るく開放的な空間の中で練習に没頭できます。2020年度よりキャンパス内に付属幼稚園から付属高等学校、大学院まで一貫教育の環境が整えられました。付属図書館や付属民族音楽研究所も併設され、教育・研究の拠点となっています。

①J館地下レコーディングルーム/DAWルーム：商業音楽分野で必要となる作編曲技法の修得、スタジオレコーディングなどを学ぶ場所です。2019年に大幅な改修工事を行い、さらに充実した設備環境を実現しました。②ガレリア：トップライトから自然光が降り注ぐ吹き抜けのガレリアを中心に、周辺にガラスを効果的に用いた練習室を配置した開放的な空間。③教室（ミニホールA200教室）：高度な音響性能を要求される教室が多数配置されています。ミニホール（202席）は教室として講義や公開レッスン、試演会などにも使用されます。④B館スタジオ：オランダ製のパイプオルガンを配置したスタジオ。オルガンレッスンのほか、オーケストラや吹奏楽などの授業が行われています。⑤J館：2020年度より付属高等学校が池袋キャンパスに移転したことにより、特色ある高大一貫教育を推進しています。⑥100周年記念ホール：806席あるシーソーワックス型の音楽ホールで、オペラ上演をはじめ、年間多くの演奏会を開催しています。

声楽専攻

世界を魅了する声楽家を目指して。



世界でたったひとつの自分の声を「楽器」として育て上げるために、基礎的な発声法などを学びます。本学の伝統である多角的かつ複数の教員から受けられる手厚い指導と充実したカリキュラムで、学生一人ひとりがもつ可能性を見出し、磨き上げ、目指す道へ進む力を育みます。

声楽芸術 【1年次：全員】

基礎的な発声法を学びながら「舞台基礎入門講座」でオペラはもちろん、すべての舞台表現の基礎を学びます。

声楽芸術コース 【2~4年次】

あらゆる歌のシーンで活躍できるよう、歌曲からオペラ、ミュージカルまで、本人の希望に合わせたさまざまなジャンルの曲のレッスンが可能です。「オペラ実習」では、声楽家、演出家、指揮者による手厚い指導が行われます。

声楽特別演奏家コース 【2~4年次】

「特別実習」では、声楽家、演出家、指揮者からの指導のもと、高度で実践的な授業が展開されます。2年次からの本コースへの在籍生は、定期実技試験の成績などにより決まります。

Pick Up 授業ピックアップ

オペラ実習

大学院からオペラ実習を開始する学校も多い中、本学では学部から本格的にオペラの実践を学べる点が最大の特色です。2年次から本番を想定した舞台に立ち、演技や発声、演出を総合的に学びます。各クラスに声楽・指揮・演出・発音指導・伴奏ピアニストが指導者として入り、徹底的にサポート。ミュージカルナンバーを取り入れ、幅広い表現力を養います。少人数制の充実した指導体制のもと、実践経験を積みながら力を磨きます。

合唱

最大の特徴は、国内外の一流のオーケストラとの合唱共演があること。年末の「第九」をはじめ、年に複数回「第九」以外の作品でも共演の場があります。世界を代表する指揮者やソリスト、プロオーケストラと同じ舞台に立つことで水準の高い音楽に触れ、プロとしての姿勢を学ぶことができます。授業においては、パート別練習、分唱を経て混声合唱に移行。合唱のみならずオペラやアンサンブルでも通用するよう発声、発音を指導しています。

Curriculum 主なカリキュラム

		1年次		2年次		3年次		4年次		
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター	
専攻科目	必修科目	声楽実技 合唱		声楽実技 合唱		声楽実技 合唱		声楽実技 合唱		
		副科実技（ピアノ） ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論		副科実技（ピアノ） ソルフェージュ 和声		—		—		
		英語コミュニケーション		—		—		—		
		外国語（イタリア語・ドイツ語・フランス語から1科目以上）								
教養科目		教養演習		—		—		—		

【専攻科目（選択）】 舞台基礎入門講座、特別実習、オペラ実習、フランス歌曲、ドイツ歌曲

Message 教員からのメッセージ



舞台に立つための、本気の学びがここにある。
表現の扉を開く、実践重視の声楽教育。

声楽専攻の最大の特色は、各学年に舞台芸術系の授業が用意されていることです。プロのオペラ公演の稽古場ながら、歌、指揮、演出、発音など専門の教員がチームで指導。授業を通じて歌唱表現、身体表現（演技）、ステージマナーなどをさまざまな角度から実践的に学び、その集大成として試験会を行います。「オペラやミュージカルをやってみたい」と思ったら、全力でチャレンジを。本学には皆さんのが夢を受け止め、サポートしてくれる教員が揃っています。

Voice 在学生からの声



プロの指導を受けながら、
表現力と創造力を育む。

「オペラ実習」の授業では指揮や声楽の先生をはじめ、多くの先生のご指導をいただけるとともに、プロの演出家から演出や舞台での動き方を学びます。自分はどのような役であるか、またどのように表現するかなど多くの時間を考えることに費やし、授業で発揮できることは、今後の音楽活動にも活きてきます。また声楽は歌詞を伴う音楽なので、語学の授業が豊富であることや、他専攻とのつながりも強いので、さまざまな角度から音楽を学べることも大きな魅力です。

器楽専攻 鍵盤楽器



ローナン・オホラ特任教授



小川 典子特任教授



エリソ・ヴィルサラーゼ特任教授

すべてのコースにおいて基礎能力の向上と、自身の特性を発見できるプログラムになっています。共通するポリシーは「作品の意思を聴く人に伝えるため、演奏を学生各自の極限まで磨くこと」「人間の湧き上がる感情と意思が作品にどう投影されているかを冷静に判断する知見をもつこと」です。この演奏芸術の要となる2つを軸に、フィジカルな演奏鍛錬のみならず、作品の分析力や創作力の向上と、「学生各自がもつ作者への親和性」を最大限に引き出しながら学修します。ピアノのレッスンは、希望により複数の教員から学ぶことが可能です。2年次からの「室内楽」「ピアノ実践伴奏」では、他専攻とのコラボレーションの機会が飛躍的に増えます。国内外の演奏家や教育者、さまざまな分野の専門家も招いて行われる「ピアノ作品解釈とキャリア研究」、海外招聘教授によるレッスンや海外短期留学の機会など、多彩な学修プログラムが整えられています。

ピアノ

- 基礎からステージでの演奏、コンクールでの演奏、さらには実際の演奏活動までを個人レッスンを中心に体得します。個人レッスンでは将来指導者を目指すための知識も豊富に得ることができます。
- 全学年対象のオーディションによる学内演奏会、3年次の定期実技試験の成績優秀者による春のコンサートがあります。

ピアノ演奏家コース

- 読譜力の速さと緻密さを養い、長時間の演奏プログラム、作品の様式感を徹底的に学修します。
- 定期実技試験の成績優秀者は、学外で開催される「東京音楽大学ピアノ演奏会」に出演します。

ピアノ・創作コース

- ピアノの個人レッスンに加え、楽曲創作の学修により読譜力を向上させ、自作発表までを経験できます。
- 「創作実技」（作曲）、「作曲理論基礎」（和声・対位法・管弦楽法など）は、作曲「芸術音楽コース」の教授陣が習熟度に合わせた指導を行います。

チェンバロ オルガン

- 本格的なチェンバロとオルガンを備えた環境で楽器の奏法を学びながら、正統的な演奏法を身につけ、ソロのみならず合奏でも活躍できる演奏家を育成します。
- 主なカリキュラムはホームページをご覧ください。

鍵盤からすべてを「表現」し、「発信」する。それを可能にするのは共感する力、理解する力。

Pick Up 授業ピックアップ

ピアノ作品解釈とキャリア研究

この授業は公開講座形式によって行なわれ、毎回異なるテーマで国内外の第一線で活躍中のゲストが来学します。ピアノ・マスタークラスを中心に、卒業後のキャリアに直結するピアノ指導や教育、楽器、また音楽と関わる医療分野まで、それぞれの専門家による講座で構成されます。音楽には演奏以外に社会と直結したたくさんのすばらしい分野があり、そこから音楽のもつ多様性を学び、音楽そのものの在り方を見つめ直すことを目指します。

室内楽（ピアノを含む課題曲選択による室内楽）

この授業は他楽器との共演や、合奏で求められる技術を修得します。ピアノはひとりでも演奏できますが、コラボレーションの多い楽器もあります。共演相手と音楽を分かち合う喜びを知ることは音楽人生の中でもっとも幸福な瞬間と言えるでしょう。専攻実技担当教員以外のピアノ教員と、他の楽器の教員の2人体制のレッスンを受けることが可能です。他専攻学生との交流を通して、音楽的な感性を磨いていきます。



Curriculum 主なカリキュラム

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専攻科目	必修科目	ピアノ実技 ピアノ初見法 *1 創作実技 *2 作曲理論基礎 *2		ピアノ実技 創作実技 *2 作曲理論基礎 *2		ピアノ実技 伴奏法 創作実技 *2 キーボードハーモニー *1		ピアノ実技 創作実技 *2 卒業演奏	
		ソルフェージュ 和声 *1 西洋音楽史概論		ソルフェージュ 和声 *1		—		—	
		英語コミュニケーション		—		—		—	
		教養演習		—		—		—	

【専攻科目（選択）】ピアノ特別実技*4、ピアノ・プラクティカル・トレーニング*3、ピアノデュオ講座、室内楽、ピアノ指導法、ピアノ初見法
ピアノ作品解釈とキャリア研究、ピアノ実践伴奏、伴奏演習、身体表現と音楽、音楽演奏科学

*1 ピアノコース、ピアノ演奏家コース *2 ピアノ・創作コースのみ *3 ピアノコースのみ *4 ピアノ演奏家コースのみ

Message 教員からのメッセージ



「人を理解する優しさ」から自分の可能性を発見しよう！
ピアノはシンプルな楽器である一方、とても奥の深い楽器でもあります。自分の状態によってさまざまな心の変化を音にしてくれます。言葉で話すように自分の心情や曲の気分を伝えられるようになると、普段話す日本語とは別の言語で自分の心の状態を伝えられるよろこびが得られるでしょう。まずは落ち着いて耳を澄まして自分の奏でる音、人の奏でる音を聞くことを心掛けてください。「自分を聴く」「人を聴く」ことは音楽家にとって大切なことである以上に、事の本質に近づくことができる「理解しようとする優しさ」そのものだと思っています。これを皆さんのが大学生活の間に育てることで、自身の思わぬ可能性に出会えると信じています。

Voice 在学生からの声



最高の環境と仲間が、私の力となる日々。
付属音楽教室に入室した7歳の時から、東京音大で学べる日々を楽しみしていました。日々指導してくださる先生方はもとより、海外の著名なピアニストから指導を受けるチャンスも多く、理想的な恵まれた環境に身を置いています。しかし一番貴重なのは、あこがれの先輩方、そして同級生や同門の、ともに学ぶ仲間ができたことです。他専攻の友人たちとも、互いの演奏に刺激を受けたり、対話し試行錯誤と一緒に音楽を模索しています。東京音大でなければ出会えなかった友人たちと切磋琢磨できることが、今の私の力になっています。

器楽専攻 弦楽器

美しく豊かな響きを追い求めて。個性の輝き、そして協調へ。



Pick Up 授業ピックアップ

弦室内楽

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ専攻者は古典派の弦楽四重奏曲を学びます。コントラバス専攻者は、古典派の弦楽四重奏曲とオーケストラスタディを学びます。ハープ、ギター専攻者は、古典派の弦楽四重奏曲と二重奏曲を学びます。室内楽の基礎的な技術と知識を修得し、標準的な編成の室内楽作品を理解することが目標です。

弦楽合奏

弦楽アンサンブルでひとつの演奏会を仕上げることを目標に、個々が責任をもったグループワークを学びます。また、音楽の醍醐味であるアンサンブルを楽しみます。卒業式などの式典でも成果を披露します。

Curriculum 主なカリキュラム

専攻科目	必修科目	1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
		弦楽器実技 弦室内楽 弦楽合奏 *1 管弦楽または合奏		弦楽器実技 弦室内楽 弦楽合奏 *1 管弦楽または合奏		弦楽器実技		弦楽器実技	弦楽器実技 卒業演奏
専門共通科目		副科実技(ピアノ) ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論		ソルフェージュ 和声		—		—	
外国語		英語コミュニケーション		—		—		—	
教養科目		教養演習		—		—		—	

【専攻科目(選択)】 管弦楽または合奏、弦室内楽、吹奏楽(コントラバスのみ)

*1: ハープ・クラシックギター除く

Message 教員からのメッセージ



豊かな心で、
未来社会に貢献できる人に。

人に感動をもたらす演奏は、表現する技術がともなってこそ。この技術の習得とともに、作品の時代背景、作曲家の意図、様式などを学んでいきます。室内楽やオーケストラの授業では、音でのアンサンブルだけではなく、人とのコミュニケーション能力も養われます。校風として個性を大切に、果敢な挑戦を応援します。豊かな人間として社会貢献につながるように願っています。

Voice 在学生からの声



仲間と支え合い、学び続けた4年間を、
さらなる成長の糧に。

多くの学びへの期待と将来の不安を胸にはじまつた大学生活。朝に練習、授業を受けて夜勤をする忙しい日々。課外活動にも積極的に取り組み毎日が修行のようでしたが、東京音大には同じように切磋琢磨する仲間が多くいて、励まされました。そして温かく、熱心に指導をしてくださる先生方。このすばらしい環境で充実した勉強ができる、とても感謝しています。オーケストラに入団した今も勉強の日々ですが、この4年間を心の糧に、さらなる成長を誓いたいと思います。

弦楽器独特の美しく豊かな響きを追求するとともに、楽曲の様式・時代背景・作曲者の意図などを学びます。
個人の個性と感性を生かして才能を伸ばし、学んだことを表現するためのテクニックを身につけます。

管弦楽や合奏などの授業においては、「聴(みみ)」を育て協調性を養います。
オーケストラも社会の縮図のようなものです。その中で、協調しながら自分をいかに主張していくのかを考えます。
社会人として音楽はどう向き合っていくのか、何のために音楽に携わっていくのかを探求し、人間としての成長を助けます。

- 週1回の個人レッスンでは、技術の向上や具体的な表現方法を、指導者の豊富な音楽経験に基づいて丁寧に指導します。
- 「弦楽合奏」や「弦室内楽」の授業では、まずアンサンブルの基礎を学びます。
- 「管弦楽または合奏」の授業では、より大編成のオーケストラ曲にも挑戦し、多様なアンサンブルについて深く学んでいきます。年間で数回行われる学内ホールでの演奏会や、他の音楽大学との合同演奏会、年1回の「シンフォニーオーケストラ定期演奏会」などに出演します。
- 提携している海外の音楽大学に短期留学をする制度があるほか、国内外招聘音楽家による公開レッスン、公開講座などを受ける機会があります。
- 外部団体からの依頼により、ソロや弦楽四重奏で演奏会に出演する機会もあります。

器楽専攻 管打楽器

自らの音を磨き上げ、相手の音に耳を澄ます。すべては調和するよろこびのために。



高度な技術と豊かな表現力をもった音楽家の育成へ。第一線で活躍する教授陣が、“プロフェッショナルを目指す学生”に対し、真摯で熱心な指導を行います。さらに、個々の音楽技能の向上だけでなく、あらゆるステージで生かすことのできる基礎を1年次から順序立てて学べるアンサンブルの授業も充実。合奏における協調性と意思疎通の能力を磨くことを重要視したレッスンは、他者との調和を学びながら一緒に音楽を創造する能力が培われます。

技術的な指導に留まらない人間力を育む指導は、プロフェッショナルのプレイヤーとして活躍する優れた演奏家のみならず、社会的に責任感のある個人として成長できる人材を多く輩出しています。

- 「管弦楽または合奏」では、1年次に同属合奏や木管五重奏、金管五重奏などで合奏の基礎を、2年次からは管打楽器によるオーケストラスタディ、そしてフルオーケストラと、アンサンブル技術を段階的に学んでいきます。
- 「Sオケ」「Aオケ」の2つのオーケストラと、「Aプラス」「Bプラス」の2つの吹奏楽が組まれ、いずれも構成は学生のみ。本学ならではのスケールです。
- 授業の集大成として、東京芸術劇場はじめ学外のコンサートホールにて定期演奏会を実施します。2024年度においては、「シンフォニーオーケストラ定期演奏会」は約120名（弦楽器含む）、「シンフォニック ウィンド アンサンブル定期・特別演奏会」は約180名と、大迫力の演奏を披露しました。
- キャンパスが立地する目黒区と豊島区のそれぞれにて開催される地域連携コンサートなど、学外で演奏できる機会も多くあります。

Pick Up 授業ピックアップ

吹奏楽

1~2年生が「Bプラス」、3~4年生が「Aプラス」と、クラス別に指導を受けます。年に2回、学外での定期演奏会を開催し、外部から指揮者を招いてプロフェッショナルな演奏環境での経験を積みます。演奏技術だけでなく、合奏を通して協調性やチームワークが磨かれます。

管弦楽または合奏

1年次は同属楽器による合奏などを通して合奏の基礎からはじめ、2年次からは「オーケストラスタディ」として、さまざまなオーケストラのレパートリーを学びます。3~4年次は弦楽器を含むフルオーケストラ形式での演奏にステップアップ。前期は計3回の学内演奏会、後期は学内と学外の両方での演奏会に加え、「学内第九演奏会」に出演します。



Curriculum 主なカリキュラム

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専攻科目	必修科目	管打楽器実技 吹奏楽 管弦楽または合奏		管打楽器実技 吹奏楽 管弦楽または合奏		管打楽器実技		管打楽器実技 卒業演奏	
専門共通科目		副科実技（ピアノ） ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論		ソルフェージュ 和声		—		—	
外国語		英語コミュニケーション		—		—		—	
教養科目		教養演習		—		—		—	

【専攻科目（選択）】吹奏楽、管弦楽または合奏、室内楽、管打指導法

Message 教員からのメッセージ



4年間の音楽大学生活を経て
優秀な演奏家・社会人を育成します。

本専攻は、数多くの教育者や優れた演奏家を世に送り出しています。学習面においてはソロをはじめ、同属・木管・金管・打楽器それぞれのアンサンブル、オーケストラスタディ、ふたつの吹奏楽とフルオーケストラなどを通して、演奏家としての基礎を4年間で身につけます。皆さんのが将来プロの音楽家になるために、著名な演奏家でもある講師陣が、技術面のみならず演奏家・音楽家としての心構えをしっかりと指導していきます。

Voice 在学生からの声



東京音大での学びを糧に、
音楽の魅力を届ける力を磨く。

付属高校から東京音大で学び、基礎から専門知識まで充実した音楽教育を受けています。個人レッスンでは一流の先生方が温かく丁寧に指導してください、技術だけでなく人としても成長していることを実感する日々。多様な専攻の仲間や先生方とのご縁が刺激となり、音楽の視野が広がりました。「音楽が好き」という気持ちを超えて、自分の音楽を通して音楽の魅力を伝えたい。その目標に向かい、音楽と人への愛をもち、世界に目を向けて努力を続けていきたいです。

作曲「芸術音楽コース」

先人の技法を学び、自分だけの音を紡ぐ。創作するよろこびがそこにある。



作曲ワークショップ

学長賞受賞作品選考演奏会

作曲新曲演奏会

Pick Up 授業ピックアップ

作曲理論1

古典から現代作品に至るまでの室内楽、交響曲、オペラなど多くの作品例を参照しながら、作曲やオーケストレーションのテクニックを実践的に学びます。各楽器の効率的な活用の仕方、よい響きを創り出すための方法論、コンピュータ処理ソフト使用を含めた楽譜の書き方など、作曲に必要な基礎知識を幅広く得るための授業。机上で資料を学ぶだけではなく、実際の音響に触れ、よりリアルな音楽の「現在」へと導くことを目標としています。

作曲理論3B

吹奏楽の書法を扱う授業です。作曲専攻の学生が卒業後に吹奏楽（多くはアマチュアによって演奏される）と関わる機会は少なくありません。そこでは、プロフェッショナルではなくアマチュアの奏者を想定した作曲法が要求されます。また、音楽的価値観以外の観点も不可欠となります。最終的には吹奏楽のみならず、学生諸氏がそれぞれ「誰のために」「何を」書くのか、という作曲家としての方向を見据えることを目標としています。

Curriculum 主なカリキュラム

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専攻科目	作曲実技 作曲理論 対位法		作曲実技 作曲理論 対位法 指揮法		作曲実技 作曲理論		作曲実技 作曲理論	作曲実技 作曲理論 卒業作品
必修科目								
専門共通科目	副科実技（ピアノ） ソルフェージュ 西洋音楽史概論		副科実技（ピアノ） ソルフェージュ		—		—	—
外国語	英語コミュニケーション	—	—	—	—	—	—	—
教養科目	教養演習	—	—	—	—	—	—	—

【専攻科目（選択）】 コンピューター・サウンドテクニック

*2023年度より、東京電機大学理工学部と単位互換を開始しました。

Message 教員からのメッセージ



あたらしい世界へ飛び立とう。

音楽でいちばん大事なのは創作の分野。ここが活発にならなければ音楽芸術全体が滅びてしまいます。過去の作品を学び、また近年の創作を研究する。こうして次第にあなた自身の作曲、あなた自身の「音」による創作が可能となります。それは誰のものとも違う、あなたの言葉によるあなたの音楽です。作品をつくることは大変ですが、完成した時のよろこびは何ものにも代えがたいものです。目の前には無限の大世界が広がっています。ぜひ自身の手で、次に来る世界を作ってみませんか。

Voice 在学生からの声



紡ぐ音、広がる世界。

心に響く旋律や和声をとらえ、形にするよろこび。創作に安住せず、情熱をもって知識を広げた日々。紡いだ音は、私自身に大きな感動をもたらしました。作曲理論を学び、先生方から多くを吸収。自由なカリキュラムのもと、独自の創作思考を育み、発表会に参加し、指揮レッスンも受講しました。さらに、室内楽や商業音楽の制作依頼も受け、理論を実践へつなげることができました。東京音楽大学での学びを通じて、音楽への理解が深まり、表現力が大きく向上しました。

- 1年ごとに指導を受ける教員を自由に選べます。
- 「作曲理論」は、1年次と2年次でオーケストレーション、3年次はコンピューターを使用した音楽と吹奏楽作編曲を学び、4年次は、さらなる個性の伸長を目的に、総合的な作曲能力を高めます。
- 2003年より毎年、「学長賞受賞作品選考演奏会」を本学ホールで開催しています。譜面審査で選ばれた作品が演奏会で審査され、最優秀作品には「東京音楽大学学長賞」（賞状と賞金）が授与されます。
- 国内外の著名演奏家・アンサンブル団体を招いて作曲ワークショップを多数開催しています。最先端の作曲技術や各民族楽器への理解を高め、学生が試作した楽曲を実際に音にすることにより、作曲能力の向上と同時に、作曲家にとって重要な「演奏者とのコミュニケーション力」を身につけることができます。
- 4年次の卒業制作（オーケストラ作品）において、優秀と認められた作品は、本学オーケストラ部会と管弦打学生の協力により、卒業作品演奏会の場で初演される機会を設けています。
- 作曲「芸術音楽コース」の最大のテーマは「個性の伸長」です。他の大学にはないとても自由な雰囲気、教員との関係性、環境の中で学生はのびのびと考え、学び、悩み、楽しみ、創作を通じて少しずつではあっても成長を続けています。多彩な個性をもつ作曲教員は、今の学生と同じよろこびや悩み、挫折を若い時期に経験しています。時には反面教師となり、学生の成長を見守ります。

作曲「ミュージック・メディアコース」



音楽業界で即戦力となるために、商業音楽分野で必要とされる作編曲法を基礎から学び、プリプロダクション、スタジオレコーディング、セルフ・プロデュースによる楽曲制作などを実践しながら、多様化したメディアに対応し、自分の音楽を積極的に世界へ発信できるアイデアと頭脳を併せもつ、時代に求められる人材の育成を目指します。

- 1年次は、週に複数回の課題提出により、「毎日作曲をする習慣」を養います。
- 2年次は、指定された構成、編曲、曲尺、用途、目的などの条件を満たす楽曲制作能力を養います。
- 2年次以降で、キーボード、ギター、ベース、ドラムスやソングライティングなどを深く追求するための選択科目を受講できます。
- 3年次は、ピッグバンド、ストリングスなど、ポップスにふさわしいオーケストレーション能力を修得し、代表的な編成での作編曲法を学びます。
- 4年次は、スタジオ録音、編集作業を実践的に学びます。
- 卒業制作としてセルフ・プロデュースによる自作曲のアルバム制作を行います。
- 「コンピューターアシstedコンポジション」の授業で、1年次より4年間、音楽制作だけにとどまらない、時代の最先端のスキルを修得します。
- 入試の機会を見直し、これまで実施していた一般選抜（A日程）および外国人留学生選抜に加え、2025年度入試からは一般選抜（B日程）、また2026年度入試からは総合型選抜（日程①）でも募集します。

時代に対応したさまざまな音楽ジャンル、メディアに。
音楽業界で即戦力となれる人材に。

Pick Up 授業ピックアップ

シンセサイザー

今や商業音楽の分野において、DTM、DAWを駆使した楽曲・音源制作のスキルは必要不可欠なものとなっています。この授業ではシンセサイザーの歴史にも触れながら、電子楽器を用いた“音づくり”的根幹となる基礎知識の修得を目指します。

スタジオ・セッション

バンド形態を基本としたアンサンブルにおける各楽器の音色やバランス、コンピネーションをスタジオレコーディングしながら学びます。この授業では各パートの教授が一同に集結。他楽器からの視点で指導を受けることができます。



Curriculum 主なカリキュラム

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専攻科目			作曲実技 和声実習 シンセサイザー コンピューターアシstedコンポジション 4リズムヘッドアレンジ ピアノコードワーク	作曲実技 コンピューターアシstedコンポジション 映像と音楽・分析と解釈 オーケストレーション スタジオエレクトロニクス	作曲実技 コンピューターアシstedコンポジション 映像と音楽・分析と解釈 オーケストレーション	作曲実技 コンピューターアシstedコンポジション スタジオ・セッション 卒業制作	作曲実技 コンピューターアシstedコンポジション スタジオ・セッション 卒業制作	
必修科目			副科実技（ピアノ） ソルフェージュ 西洋音楽史概論 ポピュラー音楽史概論	ソルフェージュ ミュージック・ビジネス概論	—	—	—	
専門共通科目								
外国語			英語コミュニケーション	—	—	—	—	
教養科目			教養演習	—	—	—	—	

【専攻科目（選択必修）】インストゥルメンツ・ベーシック、インストゥルメンツ・アドバンス

【専攻科目（選択）】コンピューター・サウンドテクニック、ソングライティング実習

*2023年度より、東京電機大学理工学部と単位互換を開始しました。

Message 教員からのメッセージ



才能の翼で、エンターテインメントの未来へ羽ばたく。

あなたたちの創る音楽がエンターテインメントの世界を変える。音楽を職業とするために必要な知識のすべてを、そして今あなたたちが知りたいことを、本コースの講義でできる限りお伝えしたいと考えています。あなたたちの持っている新しい感性と才能はエンターテインメント業界の希望です。混群に紛れることなく、誰よりも高く飛翔し、誰よりも広大なフィールドを旋回する姿を期待して、本気で応援していきます。

- 第29回日本アカデミー賞最優秀音楽賞
- 第31・38・40・44・47回日本アカデミー賞優秀音楽賞
- 国際映画音楽批評家協会 ファンタジー/SF映画部門作曲賞
- ファンゴリア・チェンソー・アワード最優秀音楽賞
- 最近作「ゴジラ-1.0」、「海に眠るダイヤモンド」など



プロフェッショナルな体験と学びを得る。
そしてグローバルな音楽活動につなげてゆく。

このコースは、作曲「映画・放送音楽コース」の時代から約30年、第一線で活躍する先生方をはじめ、本格的なレコードレーベルなど、常に変化し続ける音楽シーンとともに発展してきました。音楽を学ぶということは、よい音楽体験をすることでもあります。そのためのプロフェッショナルな環境がここにはあります。皆さんの想いと行動次第で、可能性は無限大に広がることでしょう。ぜひ世界で活躍できるクリエイターを目指してください。

- 主な作品【映画】「花筐/HANAGATAMI」、「その日のまえに」【ドラマ】「花より男子」、NHK連続テレビ小説「瞳」【アニメ】「ドラゴンボールDAIMA」「ちはやふる」【特撮ドラマ】「暴太郎戦隊ドンブラザーズ」、「仮面ライダーセイバー」【ゲーム】「歴史シミュレーションゲーム『信長の野望』シリーズ」ほか多数

*現：作曲「ミュージック・メディアコース」

作曲指揮専攻 指揮



多くの人間からなるオーケストラを導く指揮者には、多様なものをまとめあげる力が求められます。さまざまな刺激を受け、自分が今までに考えもしなかったことに思い至ること、技能の巧みさや音響的感動だけを追いかけるのではなく、それぞれの作品が人の心に何をもたらすかを理解すること、さらに自分の音楽を人々に共有するための表現力を獲得すること――。本学の作曲指揮専攻 指揮では、4年間の学びによって人間的に成長していくためのさまざまなカリキュラムを用意しています。

本専攻では指揮者だけでなく、演奏家、演出家、レコーディングディレクターや音楽療法士など、実に多彩かつ多才な教員が指導にあたっています。また、社会人に向けた指揮研修講座も開講しており、ここにもさまざまなものの見方や考え方をもつ人たちが集まります。学生たちが、多様な人々の中で有形無形の学びを得られること。これは他では見られない、本学だけの特長です。

本専攻のとりわけ特徴的なレッスンとして、指揮の学生や教員、社会人研修生が一堂に会して行われる「指揮・管弦楽コミュニケーション演習（実践レッスン）」があります。定期実技レッスンでは2台ピアノを指揮するのに対し、「実践レッスン」では器楽学生有志や教員が参加するオーケストラの指揮をします。指揮の講師だけでなく、ソリストやプロオーケストラ奏者として国内外の第一線で活躍する演奏家の視点からも専門的なアドバイスを受けられる、世界的にも珍しいレッスンを実現させています。たくさんの友人や人生の先輩・後輩に囲まれた環境で、あらゆる角度からの学びを経て自分自身の中に新しい化学反応が起こり、人間として成長していくことを通じて、指揮者に求められる力を少しづつ体得していくことができます。皆さんと一緒に学びあえることを、心待ちにしています。

楽曲を深く理解し、自らの意思を伝える。その情熱から表現は生まれる。

Pick Up 授業ピックアップ

オーケストラ実習

器楽専攻の学生が受講する「管弦楽または合奏」の授業を指揮の学生も一緒に受講し、課題曲について作曲の背景や具体的な奏法などを学びながら、演奏会をむかえるまでの練習でどのように音楽が作り上げられるか、練習での試行錯誤が本番でどのような音楽として結実するのかを学びます。

音楽理論

和声理論や管弦楽法を学び、さまざまな作品の分析を行うとともに、それぞれの作曲家の作曲技法や様式などについて理解していくことを通して、作品に対する深い洞察力を養います。

スコアリーディング

フルスコアをピアノで自ら演奏することを通して、単に楽譜を読むことを超えて、緻密にオーケストラの響きを思い描く力を体得します。

楽器奏法

自分で選んだ楽器の個人レッスンを受けることができます。奏法の基礎からじっくり教わるレッスンを通して、楽器の演奏法にとどまらず、各楽器の役割や演奏上の留意点を学び、音を出してもらう演奏者への敬意をもって指揮する心を育みます。

Curriculum 主なカリキュラム

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専攻科目		指揮実技 オーケストラ実習 音楽理論 スコアリーディング 楽器奏法		指揮実技 オーケストラ実習 音楽理論 スコアリーディング 楽器奏法		指揮実技 オーケストラ実習 音楽理論 スコアリーディング		指揮実技 オーケストラ実習 音楽理論 スコアリーディング 卒業演奏	
必修科目	専門共通科目	副科実技（ピアノ） ソルフェージュ 西洋音楽史概論		副科実技（ピアノ） ソルフェージュ		—		—	
外国語		英語コミュニケーション		—		—		—	
教養科目		教養演習		—		—		—	

Message 教員からのメッセージ

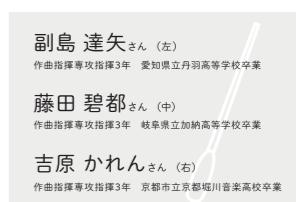


広上 淳一先生
作曲指揮専攻 指揮
教授

人生に、絶対はない。
挑戦することこそ、人が育つチカラ。

指揮では「さまざまな人を広く受け入れる」という理念を掲げています。刺激の多い東京音楽大学であらゆることに果敢に挑戦してください。挫折を味わうこともあるかもしれませんのが、その中で「絶対ということがない」ことを学んでほしい。困難をも自分の音楽への糧とする姿勢があれば、きっと道は拓けると思います。仲間とともに真剣に考えることを通して、明晰な頭脳と人間としての大きな度量を手に入れ、社会に貢献できる魅力ある人材に育つことを期待しています。

Voice 在学生からの声



副島 達矢さん（左）
作曲指揮専攻指揮3年 愛知県立丹羽高等学校卒業
藤田 碧都さん（中）
作曲指揮専攻指揮3年 岐阜県立加納高等学校卒業
吉原 かれんさん（右）
作曲指揮専攻指揮3年 京都市立京都堀川音楽高校卒業

指揮の学びに集い、
個性が響き合い、高め合う。

私たちは同じ学年ですが、実は3人とも年齢が違います。ですが東京音楽大学のどの専攻よりも仲良しの3人です！それぞれが個性的で、指揮やキャラクターもまったく異なります。しかだからこそ、お互いが尊敬しあって日々学んでいます。東京音大では、他の大学ではなかなか経験できないようなカリキュラムが用意されており、技術の向上のみならず、指揮を振ることの本質や、指揮者に求められる人間性とはどんなものなのか、深く考える機会が豊富にあります。

音楽文化教育専攻

世界の音楽文化をあなたの力でリードする。



音楽文化教育専攻は、音楽・文化・教育についての幅広い知識と技能を身につけて、これから音楽文化をリードする人材を育成します。

この専攻には、音楽学・多文化音楽・音楽教育学・音楽実技の学びが設けられていて、これらを自由に組み合わせて、自分だけの音楽を見つけていくことができます。音楽実技では、クラシック音楽の実技レッスンも履修できるので、実技専攻のように、本学の優れた教員の指導のもと、これまでの皆さんの学びを継続して深めることができます。

音楽文化教育専攻では、卒業までにほぼ全員の就職や進学が決まっています。あなたの力で音楽文化をリードし、音楽文化のブレーンとして世界で活躍しましょう。

■卒業生の主な進路

就職：島村楽器、興学社、劇団四季、住友不動産販売、巣鴨信用金庫、としま未来文化財団、東急リゾーツ&ステイ、日産カーレンタルソリューション、日興証券、日本赤十字社、星野リゾート、明治安田生命、U-NEXT Holdings、作新学院高等学校、常総市立石下中学校、葛飾区立中青戸小学校ほか

進学：千葉大学大学院、東京音楽大学大学院

Curriculum 主なカリキュラム

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専攻科目	必修科目	音楽文化教育入門		音楽文化教育の最前線		－		卒業研究ゼミナール	卒業課題
		ソルフェージュ 和声		－		－		－	
		西洋音楽史概論		世界音楽概論		日本音楽史概論			
		英語コミュニケーション	－	－	－	－	－		
専攻科目	選択必修科目	教養演習	－	－	－	－	－		
		芸術としての音楽	－	音楽と歴史	音楽と社会	音楽と価値	－	－	
		－	－	－	－	－	－	－	
		多様性の中の音楽	－	世界音楽と音楽世界	コミュニティと音楽	伝統と現代	－	－	
専攻科目	選択必修科目	音楽と教育	－	音楽教育学の基礎	音楽の比較教育	音楽と指導論	－	－	
		－	－	－	－	－	－	－	
		現代社会と音楽	－	音楽と文化	音楽とメディア	音楽とマネジメント	－	－	
		－	－	－	－	－	－	－	

【選択科目】 音楽実技、音楽文化教育学外実習、ミュージックパフォーマンス



■4つの学びの柱を自由に組み合わせて、自分だけの音楽を見つけていくことができます。

- ・学びの柱①「芸術としての音楽」（音楽学）では、クラシック音楽を軸に、音楽とはなにかを考え、宇宙までを含めて音楽についての新しい見方を切り開きます。
- ・学びの柱③「音楽と教育」（音楽教育学）では、グローバルに活躍する音楽教育者の育成を目指し、幅広い現場に対応できる力を養います。
- ・学びの柱②「多様性の中の音楽」（多文化音楽）では、音楽文化の多様性に着目して、世界のさまざまな音楽を「世界音楽」の視点で観察し、理解します。
- ・学びの柱④「現代社会と音楽」では、音楽学・多文化音楽・音楽教育学の知を総合して、音楽が現代社会とどう関わり合うかを探求します。

■「音楽実技」では、クラシック音楽に限らず、さまざまなジャンルの楽器の演奏を学ぶことができます。

Message 教員からのメッセージ



あなたの音楽で
世界を豊かにしてください。

ここは、音楽あなたを見つける専攻です。皆さんの中には、誰のものでもない音楽が、まだ生まれたての子どものようにすでに息づいていることを、わたしは知っています。その音楽を、この専攻で大きく育ててください。それこそが、これから音楽文化を創ることであり、皆さんが新しい音楽文化のブレーンとなることなのです。わたしたちは、常にアップデートされる柔軟なプログラムで、全力サポートします。

Voice 在学生からの声



音楽の魅力を多角的に探求し、
音楽の新たな可能性を見出す。

この専攻では芸術音楽や音楽教育、音楽文化など多くの視点から音楽を学ぶことができます。1年次の必修授業である「音楽文化教育入門」を受けて、さまざまな音楽を知ることができたほか、先生や学生同士での意見交換などの機会も多く設けられているため、とても刺激を受けました。実技レッスンも受講できるため、演奏技術も磨くことができています。「音楽が好き」「さまざまな音楽をやりたい・学びたい」と少しでも思っている人にとって、ぴったりの専攻です！

ミュージック・リベラルアーツ専攻

音楽と英語、リベラルアーツの力で世界へ羽ばたく。



音楽大学におけるまったく新しい、音楽も英語もリベラルアーツもしっかり学べる専攻です。音楽科目は器楽専攻や声楽専攻などと同プログラム。そして、英語科目は一般大学の外国语学科よりも少人数のクラスからスタートします。

卒業後の進路は演奏家からビジネスパーソンまで多種多彩。英語が音楽活動を広げ、海外留学や国際コンクールに挑戦する者もいれば、音楽を「知」の核としてメディアや広告関連など一般企業で活躍する者もいます。在学中は「音楽」を中心に学ぶことも、「英語」「英語による教養」を中心に学ぶことも自由自在です。

音楽を諦めたくないが学業も諦めたくない、国際的に活躍したい、音楽を続けながらよい就職先も確保したい—それならミュージック・リベラルアーツ専攻へ！

- 音楽科目は、1~4年次を通して東京音楽大学ならではの高度なカリキュラム。
- 英語スキル科目で英語を特訓！入学半年後には英語のみで授業を受ける実力がつく。
- とくに人気の「チュートリアル・イングリッシュ」はネイティブスピーカーの教員1人に学生4人。
- 2年次から英語によるリベラルアーツ(教養)科目開始。習うより使って上達。
- 3年次には東京大学先端科学技術研究センターとの協同科目「音楽の学際研究」で高度な学びができる。
- 3年次後半から英語による卒業論文作成開始。プレゼンにも磨きがかかる。
- 卒業演奏／作品+卒業論文(英語)で、世界へ羽ばたく最強の人材に。

■ 卒業生の進路実績

進学：ハーフ王立音楽院、ケルン音楽大学、米国ロードアイランド州立大学院、バークリー音楽院、ロンドン大学、グリーンガーデン音楽院、東京音楽大学大学院、お茶の水女子大学大学院、上智大学大学院など

就職先：ヤマハ・ミュージック・リテイリング、だいこう証券ビジネス、大塚商会、IPエージェント、博報堂、山梨中央銀行、島村楽器、五洋建設、日本航空、三越伊勢丹など

教育関係：神奈川県教員、インターナショナル・スクール講師、音楽教室講師など

Pick Up 授業ピックアップ

リベラルアーツ科目

2年次から履修できるリベラルアーツ科目は、ミュージック・リベラルアーツ専攻を大きく特色づける、さまざまな分野の教養を身につけることができる科目群です。授業は英語で行われ、発表によるプレゼンテーション能力も身につきます。これらは自由に選択して履修できます。

音楽の学際研究

学際融合研究の推進に資することを目的に、2024年度から東京大学先端科学技術研究センターと協力し、価値創造を目指して活動を展開しています。講座はサロン形式で、最終目標として東京大学における特別企画（コンサートなど）を開催します。

Curriculum 主なカリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目 (選択必修科目)	1セメスター 専門実技（声楽・ピアノ・ピアノ演奏家コース・創作・弦楽器・管楽器・打楽器・作曲・指揮・古楽器・邦楽器）	2セメスター チュートリアルイングリッシュ アカデミックライティング 英語学概論*1 和声・ソルフェージュ アカデミックプレゼンテーション*1 ディベートとディスカッション*1 教養演習 (西洋音楽史概論)	3セメスター アカデミックリーディング*1 ビジネスライティング (イントラクションとミュージックストリート) (ミュージックスタディーズ)	4セメスター 5セメスター 6セメスター 7セメスター 8セメスター 卒業論文ゼミ・卒業論文 卒業演奏・制作
選択科目	各自の専門実技に準じた実技科目、歌曲史、オペラ史、ピアノ音楽史、音楽美学、日本伝統音楽、ガムラン実習、教養科目、外国語科目など	*2 リベラルアーツA～J (音楽史、ジャズ史、日本音楽、音楽療法、欧州史、経済学、経営と音楽、国際関係、プログラミング、生命科学など) リベラルアーツK、L(海外大学修得科目、上智大学修得科目)		

*1 英語力が秀でた留学生は「日本語」の履修に変えることができる
*2 英語力が特に優れている学生は、リベラルアーツ科目の一部を1年次(2セメスター)から履修可能
*専門実技に「指揮」を選択した場合は別途必修科目あり

Message 教員からのメッセージ



横断的に学び、二兎も三兎も追え！

音楽も、英語も、その他の科目も学びたい！そんな方にぴったりなのが、ミュージック・リベラルアーツ(MLA)専攻です。MLAは、音楽の実技科目と英語による教養科目の両輪を軸とした、全国でも珍しい専攻です。学生の専門分野は声楽、器楽、作曲など多岐にわたり、音楽歴も英語力もさまざま。多様性と活気に満ちた環境で、音楽と知のネットワークを広げていきませんか。音楽のみならず人生に成功しよう、それがMLA専攻のポリシーです。Embark on your journey with us - we're ready to welcome you!

Voice 在学生からの声



国際色豊かな視点と英語の学びが、音楽と未来の可能性を広げる。

MLA専攻は、多様な価値観に触れながら成長できる最適な学びの場です。多くの留学生や異なるバックグラウンドをもつ同級生と交流することで、新しい視点を得る貴重な機会があります。基礎的な英語だけでなく、器楽専攻の授業、幅広い分野の知識も英語で学べるため、自分の興味や目標に応じて学びをカスタマイズできるのが魅力です。自ら積極的に学び、多角的な視野を広げたいと思う方には、MLA専攻が最適な環境です。ともに成長し、夢を実現しましょう！

吹奏楽アカデミー専攻

吹奏楽をより深く、アカデミックに学ぶ。



マーチング



吹奏楽合奏



指揮法演習（下野 竜也先生）

正しい吹奏楽の知識をもった演奏者や指導者を育成し、その資質を武器にメディアや音楽関連企業、一般企業など業種を問わず社会で活躍できる人材を世の中に送り出すことを目指します。よい指導者であるためにも、よい演奏家、よい音楽家に。のために個人レッスンや合奏の授業を通して確かな技術と豊かな音楽性を獲得します。学生一人ひとりに合わせた個性を引き出す授業科目を多く用意し、学生が希望する進路に合わせた学修内容を選べる、専攻独自のカリキュラムを構成しています。

- 「バンドディレクション」では、さまざまな指導法に触れ、方法論や計画性、コミュニケーション能力を身につけます。
- 「ワークショップ」では吹奏楽にまつわるさまざまな職業の実地に立ち会うなど、実体験をします。
- 「吹奏楽合奏」「管打アンサンブル」では講師陣も学生と一緒に演奏し、その場で演奏のアドバイスやプロの音を間近で聴くことができます。
- 吹奏楽で用いられるすべての楽器に関する知識を身につけ、指導法や作編曲に結びつけます。
- 段階的に設定された理論系の授業で学ぶことで、吹奏楽の作編曲の能力を修得します。
- マーチングやポップス、作曲など専門性の高い分野に関する知識と能力をより深化させる授業科目も充実しています。

Pick Up 授業ピックアップ

バンドディレクション

基礎合奏や楽曲の指導法、世代別の楽団の運営方法、吹奏楽と社会との関わり、合奏で使用される機器の操作方法や活用術、さらには著作権など、吹奏楽の現場に必要とされる知識を4年間で幅広く学びます。講師には学外からも実際に現場で活躍しているさまざまな方を招き、特定の方法論にとらわれず、多様なアプローチに触れてていきます。また、4年次には実際にバンドを指揮して、合奏の組み立て方や振る舞い方なども学びます。

楽器別指導法

吹奏楽アカデミー専攻に所属する各楽器の専門家による指導のもと、木管・金管・打楽器・コントラバスと吹奏楽で使われるすべての楽器について学びます。自分たちで実際に楽器を手に取って演奏してみることを通じて、奏法はもちろん、各楽器の基礎知識から原理、メンテナンス方法、指導方法まで修得します。

Curriculum 主なカリキュラム

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専攻科目	必修科目	専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏		専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏		専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏		専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏	
		副科実技（ピアノ） ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論		ソルフェージュ 和声 吹奏楽史		作曲法		—	
		英語コミュニケーション		—		—		—	
専門共通科目	教養科目	教養演習		—		—		—	

【専攻科目（選択）】 楽器別指導法、ワークショップ、管打アンサンブル、指揮法演習、吹奏楽作編曲、スコアリーディング、吹奏楽ポップス研究、マーチング演習

Message 教員からのメッセージ



吹奏楽を楽しみながら、
夢と目標に向かっていこう！

吹奏楽アカデミー専攻が開設されて丸6年が経ち、2025年度で7年目になります。1期生から3期生が卒業し、夢と目標を叶えてそれぞれの道に進んでいきました。その進路としては、教員採用試験に合格して音楽教員、吹奏楽指導者、音楽系企業、一般企業に就職しながら吹奏楽指導に関わる、大学院へ進学など多様です。本専攻は卒業してから社会への即戦力として活躍できる豊かな人間教育を実践しています。皆さん、一緒に夢と目標を叶えませんか！

Voice 在学生からの声



プロの熱い演奏と指導のもと、
吹奏楽の本質を追究する。

吹奏楽アカデミー専攻ではバンドを指導・指揮をする、作編曲を行い演奏するなど実践が多く、たくさんのことを経験でき吹奏楽を多面的に学ぶことができます。演奏面においては、合奏授業で各楽器の先生方も一緒に演奏していただくため、楽器の垣根を越えてご指導をいただくことができます。また、先生方が熱い気持ちで演奏しているのを間近で感じることができとても刺激的です。部活動の延長線ではない深い吹奏楽を学ぶことができます。

ミュージックビジネス・テクノロジー専攻

音楽×ICTで未来を切り拓く、先駆者を育てる。



株式会社インターネットイニシアティブでの実習

クラシックのみならずポップミュージックでも我が国トップの教育力をもつ東京音楽大学がつくった、音楽とICTを結合した専攻、それが「ミュージックビジネス・テクノロジー専攻」(MBT)です。現在最前線で活躍するサウンドクリエイターをはじめ、ICT、エンターテインメント、音楽ホールなど関連企業のトップが加わり、音楽業界、ビジネス業界の最新事情を常にフォロー。「音楽×ICT」を身につけ、音楽制作の未来、エンターテインメントの未来、ビジネスの未来を拓く人材を育成します。卒業後は音楽ビジネス業界はもちろん、さまざまな分野で活躍することが可能。従来の産業の枠組みを越えて新しい活動を発想できる起業家精神をも育みます。

音楽関連科目

クラシック、ポップス、民族音楽など、音楽大学ならではの多彩な科目が揃っており、ピアノや曲作りなどは各人のレベルに合わせて学ぶことができます。箏や三味線、ガムランといった和楽器、民族楽器も体験できます。音楽のセンスを磨きつつ、コンピュータを用いたサウンドテクニック、ミュージック・プログラミング、レコーディング・テクニック、楽曲制作などを段階的に学んでいきます。

ICT関連科目

コンピュータの仕組みを初步から学びます。プログラミングはPythonやC言語を中心にアプリケーションの制作まで、実社会で必要とされるAI、データベース、クラウド、ネットワーク技術も学修。さらにWebデザイン、ゲーム制作などさまざまなICT技術を体験しながら、基本情報技術者をはじめ、資格取得レベルまで学ぶことができます。

MacBook等支給

ひとり1台支給されるMacBook等(Studio One Professional, Adobe Creative Cloud, Microsoft 365などの基本的なソフトを含む)を片手に、音楽制作、プログラミング、Web関連スキル、ICT技術などを学んでいきます。(卒業時に本体は返還不要。機種・付属ソフトは変更になることもあります)

Pick Up 授業ピックアップ

DTM演習1・2

近年、「DIYミュージシャン」や「宅録」という言葉が広まり、特にポピュラー音楽では個人や少人数による制作・発信が増えています。「DTM演習1・2」では、スケールやコード、リズムなどの音楽理論を学びながら、DAWを使った打ち込みや編集を実践します。音楽をどのようにパソコンで表現し、形にするか、基礎的な過程を通じて、音楽制作に必要な知識とスキルを身につけます。

プログラミング演習1

コンピュータはさまざまな電子機器の制御、数値計算、シミュレーションなどに用いられます。これらの用途において望んだ動作を得るために、その動作を適切にプログラミングする能力が必要です。本科目では、コンピュータを用いた設計や開発の基礎として、機械学習やデータ分析における代表的な言語であるPythonの基本文法を解説し、実習を通じてプログラミング能力を習得することを目指します。

Curriculum 主なカリキュラム

専攻科目	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
必修科目	コンピュータ基礎論 コンピュータ数学 ハードウェアおよびOS理論 プログラミング演習 デジタルクリエイション演習 WEBクリエイション演習 音楽基礎 DTM演習 ビジネス最前線	レコーディング・テクニック ネットワークセキュリティとクラウド ミュージック・プログラミング演習 プログラミング演習 デジタルクリエイション総論 WEBクリエイション演習 音楽理論	AIとデータ処理 マネジメント LinuxとサーバOS プログラミング演習	データベース 音楽プロデュース演習 卒業プロジェクト 卒業研究				
選択必修科目	科学・音楽・社会	オフィスペシャリスト ゲーム制作 ビジネス最前線 情報処理総論	アドバンスト・コンピュータ・ミュージック演習 ゲーム制作 ビジネス最前線	IOT プログラミング モバイルアプリケーション				
外国語	英語コミュニケーション	—	—	—				
教養科目	教養演習	—	—	—				

【専門共通科目】副科実技(ピアノ)、和声、西洋音楽史概論、ポピュラー音楽史概論、世界音楽概論、日本伝統音楽など

Message 教員からのメッセージ



さまざまな学生が集まり、
未来の仕事を創りだす。

新しくスタートしたMBT専攻は、音楽を入り口に発想力を鍛えICTを活用し、情報社会が求める新しい仕事を創りだすことを目指すこれまでにはない専攻です。初年度には「音楽が大好き」なさまざまな経験や目標をもつ幅広い年齢層の学生たちが集まりました。1年次は音楽をゼロから学び直すとともに同時にプログラミングや映像制作などを学び、これからはより専門性の高い実習へと入っていきます。我われと一緒に新しい音楽文化と産業を創り出していくましょう。

Voice 在学生からの声



音楽の創造とテクノロジーを学び、
演奏×ビジネスの新たな可能性に挑戦する。

この専攻では、音楽産業・ビジネスから作曲(DTM)、演奏理論まで幅広く学べます。特にDTMの授業では、自分の音楽的世界観を形にする方法を学びました。音楽実技未経験でも安心して学べるカリキュラムや、他専攻の学生との交流、コンサート企画の機会も魅力です。私は演奏技術に加え、テクノロジーを活用した革新的な演奏スタイルを確立し、マーケティングの知識を生かして演奏家の音楽活動を支えるプロデュースにも挑戦したいと考えています。

大学院音楽研究科



大学院に進学することにより、音楽家、教育者、研究者としてのキャリア形成に必要な、高度な専門知識と技能を深めることができます。

修士課程（標準修業年限2年）

- 学位 修士(音楽)
■入学定員 70名(社会人および外国人留学生を含む)
■資格 中学校教諭一種免許状(音楽)、高等学校教諭一種免許状(音楽)を有する者が所定の単位を取得して本大学院修士課程を修了した場合は、中学校教諭専修免許状(音楽)および高等学校教諭専修免許状(音楽)を取得できます。

専攻	研究領域
器楽専攻	●鍵盤楽器研究領域 ●管打楽器研究領域 ●弦楽器研究領域 ●室内楽研究領域
声楽専攻	●独唱研究領域 ●オペラ研究領域
作曲指揮専攻	●作曲研究領域 ●指揮研究領域
音楽文化研究専攻	●音楽教育研究領域 ●音楽学研究領域 ●ソルフェージュ研究領域 ●多文化音楽研究領域 ●吹奏楽研究領域

博士後期課程（標準修業年限3年）

- 学位 博士(音楽)、博士(音楽教育学)、博士(音楽学)
■入学定員 3名(社会人および外国人留学生を含む)
■専攻 専門分野
音楽専攻 ●器楽 ●声楽 ●作曲指揮 ●ソルフェージュ ●多文化音楽実践 ●音楽教育学 ●音楽学 ●多文化音楽研究

高度な専門知識と技能の習得: 器楽、声楽、作曲指揮、音楽文化研究など、多彩な専攻分野で深い学術的知識と実技を学ぶことができます。



付属機関



付属図書館

楽譜7万点、音楽書を中心とする図書5万点、録音・映像資料4万点など音楽を学ぶために必要な資料をそろえ、両キャンパスのカウンターで提供しています。学内外で利用できる学術情報データベース、音楽配信なども拡充しています。2024年9月にリニューアルオープンしました。

所蔵資料概要 2024(令和6)年3月末現在	
図書	53,554冊 (内、eBook 1,182点)
映像資料	4,328点
雑誌	1,104タイトル
楽譜	75,035冊 (内、eBook 353点)
電子ジャーナル	85タイトル
録音資料	44,837点
契約データベース	14種類



付属幼稚園

1950年に開園。音楽を取り入れたきめ細かい保育を行うとともに、音楽大学の付属機関である特色を最大限に生かした音楽教育を行っています。また、早期から英語教育を取り入れ、「聞く」「話す」ことが楽しく自然に身につく指導を行っています。保育活動、演奏会、実技個人レッスンなどで学んださまざまな力は、豊かな人間性を育てる礎となります。



付属高等学校

1932年に新設。実技レッスンは大学の教員によって行われ、一人ひとりの実力、能力に見合った指導により、生徒の技術力、表現力、感性が磨かれ、音楽の総合力が高められています。付属高等学校の校舎は大学の池袋キャンパス内にあるため、高大一貫教育をさらに進化させ、特色ある高大連携カリキュラムの構築を実現しています。



付属民族音楽研究所

日本伝統音楽やアイヌの音楽、インドのさまざまな音楽やインドネシアのガムラン音楽など、世界の視点から音楽の理論と実践を研究。世界の楽器資料や書籍・音源・映像を所蔵しています。リュートなどの欧州の古楽も含め、多彩な公開講座や社会人講座を提供します。作曲家・元学長の伊福部昭により1975年に創設されました。



付属音楽教室

徹底したマンツーマン指導で行われる実技レッスンと、音感を育てるソルフェージュ授業により、大学付属の教室として総合的な音楽教育が行われています。音楽を通して想像力・コミュニケーション力を育む、各人の能力に合わせた指導も行っています。在室生の多くは音楽コンクールで優秀な成績を収め、付属高等学校、東京音楽大学に進学しており、国際的に活躍する演奏家も輩出しています。



TCMオーケストラ・アカデミー

2022年4月開設のTCMオーケストラ・アカデミーは、大学卒業以上の方を対象に、高度な演奏技術を教授し、オーケストラ奏者として国内外の職業オーケストラで活躍し、聴衆を魅了する演奏力をもつ音楽家を育成することを目的としています。

カリキュラム構成

全学必修の基礎教育科目「教養演習」

2023年度より入学初年次の全学必修科目として「教養演習」を実施しています。グループ演習形式で、テーマに関連した資料の検索からはじめ、研究の方法や方向性などを話し合い、口頭と紙面での発表を行うことにより、大学生活に必要なアカデミック・スキルを修得しつつ、課題解決のために必要な思考力・判断力・表現力を身につけることを目的としています。

学生の意欲と進路に合わせた外国語教育

2024年度より学生一人ひとりの学修意欲と進路に合わせるため、外国語科目的構成を見直しました。必修となっている英語のほか、ドイツ語、フランス語、イタリア語について、留学を目指して徹底的に学ぶコースから各外国語に親しむコースまで、段階的な構成をとっています。

オープン科目

所属する専攻のカリキュラム以外に、他専攻・コースの専攻科目を履修することができる制度です。本学の7専攻11コースの垣根を越えた学びが可能です。修得した単位は、専門共通科目として卒業要件単位として扱われます。

専攻科目

質の高い専門教育を実施し、高度な能力をもつ音楽人を養成するため、一流の教員による個人レッスンとともに、多くの専攻でアンサンブル教育の充実に力を入れています。

科目名は各専攻・コースのページをご覧ください。

専門共通科目（オープン科目含む）

所属する専攻に関わらず履修することができる選択科目です。専攻の枠を越えた音楽的素養を身につけ、その幅を広げます。

*履修条件が付されている科目や、一部の専攻では履修できない科目があります

- 副科実技(ピアノ、声楽、チェンバロ、フォルテピアノ)
- 独唱及び合唱
- 室内楽
- 作曲法
- 指揮法
- 指揮・管弦楽コミュニケーション演習
- ソルフェージュ
- 和声
- 和声分析
- 対位法概論
- 西洋音楽史概論
- 歌曲史
- オペラ史
- ピアノ音楽史
- 管弦楽曲史
- 吹奏楽史
- ポピュラー音楽史概論
- 楽譜学
- 音楽分析学

- 音楽美学
- 古楽概論
- 世界音楽概論
- 日本音楽史概論
- 日本伝統音楽A(歌唱)
- 日本伝統音楽B(和楽器)
- ガムラン実習
- マルチメディア演習
- ミュージック・ビジネス概論
- 音楽キャリア実習
- ミュージック・コミュニケーション講座
- 指導者養成管弦楽
- 指導者養成吹奏楽
- 合唱
- ピアノ作品解釈とキャリア研究
- 通奏低音奏法
- 古楽合奏
- 管打指導法
- スタジオエレクトロニクス
- 音楽と歴史
- 音楽と社会
- 音楽と価値
- 音楽と文化
- 音楽とメディア
- 音楽とマネジメント
- 世界音楽と音楽世界
- コミュニティと音楽
- 伝統と現代
- 音楽教育学の基礎
- 音楽の比較教育
- 音楽の指導論
- ミュージックパフォーマンス
- 音楽教育学外実習
- リベラルアーツA～J
- ビジネス最前線



ガムラン実習



マルチメディア演習



ミュージック・コミュニケーション講座



合唱

基礎教育科目

音楽家として、社会人としての豊かな教養を培います。

- | | | | | |
|-----------------|---------|---------|---------------|---------------|
| ■ ドイツ語歌詞研究 | ■ スペイン語 | ■ 応用倫理学 | ■ 現代社会と法 | ■ 音声学 |
| ■ 音楽文献研究(ドイツ語) | ■ ロシア語 | ■ 日本史 | ■ 書法 | ■ 音楽療法 |
| ■ イタリア語歌詞研究 | ■ 中国語 | ■ 西洋史 | ■ 数学 | ■ メディア論 |
| ■ 音楽文献研究(フランス語) | ■ ラテン語 | ■ 東洋史 | ■ 宇宙科学 | ■ キャリアデザイン論 |
| ■ 英語 | ■ 心理学 | ■ 日本文化論 | ■ 自然科学 | ■ 音楽文化環境論 |
| ■ ドイツ語 | ■ 宗教学 | ■ 西洋文化論 | ■ 日本語表現法 | ■ 健康・スポーツ科学理論 |
| ■ フランス語 | ■ 哲学 | ■ 東洋文化論 | ■ 健康・スポーツ科学実践 | ■ 情報メディア |
| ■ イタリア語 | ■ 倫理学 | ■ 環境と経済 | | ■ スポーツ科学実技 |

特別実技科目

別途受講料を支払うことにより、実技科目を履修することができます。

- ①音楽実技I～VIII
対象:音楽文化教育専攻(卒業要件内)
ミュージックビジネス・テクノロジー専攻(卒業要件外)
- ②第2副科実技
対象:全学年・全専攻(卒業要件外)



邦楽

他大学との単位互換制度

東京音楽大学では、相互に教育内容の充実を図り、交流を深め、多様な価値観に基づく学修機会を提供することを目的に、2010年度より上智大学と単位互換型の学生交流制度を設けています。2年次以上の全専攻の学生を対象に、上智大学の500以上の講座から受講が可能です。また、2020年度より聖心女子大学、2021年度より放送大学、2023年度より東京電機大学理工学部と単位互換制度を開始しました。4大学で修得した単位は本学の単位として認定されます。



上智大学

教育方針

ディプロマポリシー 卒業認定・学位授与の方針

アカデミズムと実学の精神を両立させることによって、個の確立、協調性、社会性、国際性を獲得し、広く社会に貢献することのできる人材を世に送り出します。

カリキュラムポリシー 教育課程編成・実施の方針

個人レッスンを核とする専攻科目を中心に、専門基礎科目・専門共通科目で音楽的能力の基礎を固めるとともにその幅を広げ、さらに基礎教育科目で国際人としての広い教養を身につけることにより、音楽を土台として現代社会のさまざまな局面に対応しうる人材を育成することを目標とします。

アドミッションポリシー 入学者受け入れの方針

大学において専門的に音楽を学ぶにあたり、楽譜を読む力、音を聴く力、表現の基礎となるテクニック、様式をとらえる力、楽典の知識が一定のレベルに達していることが重要です。音楽の学習には外国語も必要です。専攻によっては、ピアノ演奏や新曲視唱、新曲視奏の基礎的な能力も必要です。

Pick up

指揮・管弦楽コミュニケーション演習（「実践レッスン」）

指揮専攻生のレッスンに器楽の学生有志がオーケストラを編成して参加。国内外で活躍する演奏家や音楽専門家を特別アドバイザーにむかえことで、忌憚のない現場の生の声を聞く機会ともなっています。教員と学生、専攻や学年の垣根を越えて全員が主体的に参加する本学ならではのアクティブラーニングです。





法律に定められた所定の単位を修得することで教育職員免許状を取得することができます。本学の教職課程は、教員に求められる「人間性や社会性」を培う場であることを意識して教育を行っています。今後も講座内容を充実させるとともに、きめ細かな指導を通して、実際の教育現場で活躍できる音楽教員を育成していきます。

そのために本学では、「育成する教員像」を以下の通り掲げています。

育成する教員像

- 教師として使命感や誇り、子どもに対する愛情や責任をもつ。
- 教師として確かな力量を備え、常に学習する意欲をもつ。
- 教師として豊かな人間性や社会性、人格的資質をもつ。



取得できる免許状

- 中学校教諭一種免許状（音楽）
- 高等学校教諭一種免許状（音楽）
- 小学校教諭二種免許状（明星大学通信教育部との教育業務提携による免許状取得）



教職に関する科目・講座

模擬授業を行う「音楽科指導法」「教職実践演習」など、実際の教育現場を意識した授業内容となっています。また、就職支援プログラムとして教員採用試験に必要な面接や小論文対策を行う「教員養成講座」を実施しています。

必修科目

- 教職論 ●教育原理 ●教育心理 ●特別支援教育概論 ●教育経営論 ●教育課程概論 ●教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）
- 音楽科指導法 ●道德教育指導論 ●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 ●生徒・進路指導論 ●教育相談概論 ●教職実践演習（中・高） ●教育実習

選択科目

- 教職課程管弦楽 ●教職課程吹奏楽 ●合奏 ●ピアノ演習 ほか



2024年 教員新規採用者数

卒業生の約2名に1名が教育職員免許状を取得しています

	東京都	埼玉県	千葉県	神奈川県	他県	合計
公立	9名	6名	2名	1名	4名	22名
私立	4名	1名	1名	1名	1名	8名

*埼玉県私立に幼稚園教諭1名、東京都私立にインターナショナルスクール1名を含む
※2023年度卒業生

Pick up 教職課程管弦楽・吹奏楽



毎年多くの学生が履修する、本学独自の科目です。最大の特長は「自分の専攻以外の楽器」を体験できること。苦労しながら合奏を経験することで、はじめての楽器を前にして上手に演奏できない子どもの気持ちを理解し、さらにはアンサンブルのよろこびとともに団体行動における指導方法まで学べます。合奏では各パートの教員が隣で一緒に演奏するため、「本物の音」を知る経験が得られます。実際に教壇に立った時に生きてくる有意義な授業です。

Pick up 教員養成講座

専門教養・面接指導・論文指導

「専門教養」の講座では、各都道府県の過去問に着目し、音楽に関する問題を分析することで、教員採用試験の出題傾向を知ります。また、授業では映像や音源も取り入れながら日本の音楽、民族音楽、鑑賞、音楽史などの知識をより確かなものにしています。さらに、論文・面接指導を通して、教員としての資質・能力も育成しています。

教職教養

教科に関する知識、指導力は必要です。しかし、教員の仕事はそれだけではありません。特別の教科道德、総合的な学習の時間、特別活動について学ぶことを忘れてはいけません。また、社会と学校のつながり、学校の組織など、知らなければいけないことはたくさんあります。社会の動きと教育をつなぐ授業です。

Message 卒業生からのメッセージ

西田 梨央さん
2021年3月
器楽専攻ピアノ卒業



明星大学との教育業務提携で、
小学校教諭二種免許状を取得。

私は明星大学との教育業務提携を利用し、小学校二種免許状を取得しました。大学の授業とは別で学習を進めなければならないので、見通しをもつことが大切でした。特に実技試験前などは練習に時間を割きたかったので、それまでに学習が終えられるよう努力しました。得意な科目はテストとレポート、苦手な科目はスクーリングに通って単位を取得しました。このように自分に合った学習方法が選べるのはとてもよかったです。この免許が取得できたおかげで今の仕事に就くことができ、諦めずに単位を取得してよかったです。

館 遥乃さん
2023年3月
音楽教育専攻応用音楽教育コース卒業*
*2020年度より音楽文化教育専攻に改編



夢中で学んだ日々が、
いま教員として生きるチカラになった。

私にとって教職課程は、同じ志をもつ仲間や、経験豊富な先生方に囲まれ、夢中で勉強したかけがえのない時間でした。特に「音楽科教育法」で試行錯誤しながら行った模擬授業は鮮明に覚えており、その時の先生方からのご指導は、今の授業づくりの基盤になっています。仕事では大変なこともありますですが、それ以上に子どもたちと一緒にさまざまなことを乗り越えていくよろこびを感じています。また、自分自身が成長できることも、教員の魅力のひとつです。子どもたちとの日々を大切にしながら、これからも教員として歩んでいこうと思います。

中村 日向子さん
2022年3月
器楽専攻ピアノ演奏家コース卒業



音楽を通じて培った経験を伝え、
生徒たちの未来を支える。

教職課程では、知識から実践まで段階を踏んで学ぶことができます。特に教職特別演習では、採用試験に向けて丁寧にご指導いただきました。同じ目標を志す仲間と勉強できる環境は、自分のモチベーションになります。教員という職業は音大で学ぶ専門的な知識や幅広い音楽経験を子どもたちに伝えることができる職業です。実際に教員になり、音楽教育以外にも生徒たちの将来を決める選択のお手伝いができるに大きなやりがいを感じています。最後に、専攻実技にとらわれず背中を押してくださった先生方にも、深く感謝申し上げます。

「音楽は国境を越える」を信念に、世界に通用する人材を育成するため、多彩な交流プログラムを展開しています。ヨーロッパの名門校と提携し、交換留学や教授陣の招聘を実施。研修旅行では協定校でレッスンを受け、演奏会にも参加できます。バイエルン州立青少年オーケストラとの提携では、ドイツやイタリアでの演奏旅行を経験。さらに、イギリス・サセックス大学をはじめとした名門総合大学への留学支援や、アジア諸国の音楽大学との交流も活発に行ってています。



ドイツ ハノーファー音楽・演劇・メディア大学に短期留学

河原 由依さん ミュージック・リベラルアーツ専攻2年 雙葉高等学校卒業

数々の建造物がドイツの長い歴史を感じさせるハノーファーで過ごした1ヶ月は、もう一度自分の音楽を深く見つめ直し、今後に向けた課題と指針を示してくれる、大変有意義な期間となりました。レッスンでは4人の著名な先生方がさまざまな観点から的確な指導をしてくださり、毎回が内容の濃い充実した時間でした。さらに毎週行われる試演会では、個性豊かで自由な表現力をもつつかの学生の演奏も聴くことができ、多くの刺激を受けました。ドイツ留学は以前からの目標でしたので、今回大学にサポートしていただきながら留学でき本当に感謝しています。この学びを糧に、これからも音楽と真摯に向き合って励んでいきたいと思います。



イタリア キジアーナ音楽院の夏期講習会に参加

山本 志奈さん 大学院修士課程器楽専攻弦楽器研究領域（ヴァイオリン）1年 東京音楽大学付属高等学校卒業

巨匠サルバトーレ・アッカルド先生のご指導と多国籍な仲間たちとの交流を通じ、多様な視点で音楽を学んだすばらしい18日間でした。レッスンでは演奏における表現や楽譜の読み解き方、細かな技術まで丁寧にご教授いただき、これまでの自分の奏法を見直すきっかけや新しい発見を得る機会に。また、修了演奏会で体感したイタリアの観客の熱い反応も忘れられません。今回のチャレンジは、将来のキャリアや音楽活動に新たな視野を与えてくれました。



ドイツ 「バイエルン青少年オーケストラ合宿・演奏会」プログラムに参加

川井 愛永さん 2023年4月 器楽専攻（ヴァイオリン）卒業 東京音楽大学付属高等学校卒業

卒業前のバイエルン青少年オーケストラ参加でしたが、私にとって夢のような2週間でした。出発2週間前に卒業試験を終え準備も十分とは言えない中の旅立ちでしたが、一緒に参加した仲間やドイツのあたたかい方々にたくさん助けられ支え合って生きていることを切に感じました。毎日違うホールに移動して同じプログラムを演奏するという貴重な体験をさせていただきました。同じ演目の演奏会とは思えないくらい毎回違った緊張感、「昨日よりも、よりよい演奏を」という全員の強い気持ちがありました。一瞬一瞬を全力で楽しんでいる様子に、自由にのびのびと音を楽しめる環境を日本でもつくりたいと思いました。



主な交換留学提携校 (2025年4月1日現在)

イギリス 王立バーミンガム音楽院

スペイン リセウ高等音楽院

ポーランド ショパン音楽大学

イギリス ハダースフィールド大学

フィンランド シベリウス・アカデミー

オーストリア ザルツブルク・モーツアルテウム大学

イギリス ギルドホール音楽院

ロシア モスクワ音楽院

オーストリア ウィーン国立音楽大学

イギリス サセックス大学

スイス チューリッヒ芸術大学

ハンガリー リスト音楽院

フランス エコール・ノルマル音楽院

ドイツ ハノーファー音楽・演劇・メディア大学

インドネシア インドネシア芸術大学ジョグジャカルタ校
インドネシア インドネシア芸術大学スラカルタ校

マスタークラス 世界で活躍する演奏家や教授からの直接指導を、国内で！

本学の大きな特長として、国内外の招聘音楽家によるマスタークラスが挙げられます。キャンパス内で世界のトップレベルの演奏家や教授のレッスンを受けることができ、このような機会をステップにして留学する学生や、コンクールで優秀な成績を収める学生も多く、将来の夢に近づく一助になっています。



アーミン・ザナー氏の声楽公開レッスンを受講

中村 里咲さん 大学院修士課程声楽専攻オペラ研究領域2年 千葉県立津田沼高等学校卒業

巨匠のレッスンが、新たな音楽の扉を開くきっかけに。

昨年度英国ギルドホール音楽院に短期留学していたこともあり、今回のマスタークラスのお話をいただいた際、絶対に受講したい!と思いました。ザナー先生のレッスンは言葉から音楽の作り方まで、一つひとつを丁寧に指導してくださりとても充実した時間を過ごすことができました。今回日本ではほぼ歌われることのない英米オペラ作品のアリアをレッスンしていただきましたが、日頃英国で教鞭を取っていらっしゃるザナー先生のご指導は大変わかりやすく、私自身の新たなレパートリーを開拓する大きな経験になったと思います。



2024年度に実施した公開レッスン、マスタークラス、講演会など

- アンサンブル・アンテルコンタンボラン（作曲ワークショップ）
- ボリス・ベルキン氏（指揮マスタークラス）
- ニコラ・バルディール氏（クラリネット公開レッスン）
- サボルチ・ゼンプレーニ氏（ホルン公開レッスン）
- イングリット・フックス博士（音楽学特別講演会「ブルックナーと同時代の交響曲指揮者—芸術的創造者と後見人たち—」）ほか

「ピアノ作品解釈とキャリア研究」より

- エヴァ・ポヴォウツカ氏（演奏、レクチャー「フレデリック・ショパン初期から中期・後期マズルカに至る形式の発展」）
- エリソ・ヴィルサラーゼ氏（ピアノ公開レッスン）
- ジェラルド・ファウト氏（ピアノ公開レッスン）
- ロナン・オホラ氏（ピアノ公開レッスン）ほか

奨学金

東京音楽大学奨学金（返済義務なし）

本学では各種奨学金制度を用意しています。

2024年度は、特別特待奨学生7名、給費奨学生47名にそれぞれ支給されました。

詳しくはホームページをご覧ください。



奨学金・学費減免の種類	選考	金額
特別特待奨学生	選抜制	学費全額または理事会の定める額を免除
給費奨学生特別奨学生	選抜制	全学費相当額を給付
給費奨学生準特別奨学生	選抜制	50万円～100万円を給付
給費奨学生甲種奨学生	選抜制	30万円を給付
入学奨学金	出願制	入学金に相当する額を給付
家計急変者奨学生	出願制	授業料の全額もしくは一部を給付
大規模自然災害罹災学生授業料減免	出願制	授業料（理事会の定める額）を減免
同一生計の複数就学者授業料減免	出願制	最上位在籍者以外の授業料の20%を減免
野島稔奨学基金 海外渡航支援奨学生	選抜制	渡航にかかる経費の一部を助成
短期留学奨学生	選抜制	参加費、宿泊費、航空運賃の一部を補助

その他の奨学金など

青山音楽財団、瀬木博尚記念芸術文化振興会、戸田育英財団、福島育英会、明治安田クオリティオブライフ文化財団、山田貞夫音楽財団、よんでん文化振興財団、北野生涯教育振興会などの民間財団が事業主体の奨学金があります。

また、人物・成績が優れ、経済的理由により就学が困難な学生に対しては、日本学生支援機構、地方公共団体・民間育英事業団体（貸与）などの奨学事業を紹介しています。詳細は学生支援課までお問い合わせください。

高等教育における修学支援新制度

本学は、国による高等教育の修学支援新制度（授業料等減免・給付型奨学金）の対象校に認定されています。採用された学生は、支援区分に応じた給付月額、授業料減免および入学金減免の支援を受けることができます。

具体的な支援内容などについては、文部科学省Webサイトまたは日本学生支援機構（JASSO）Webサイトをご覧ください。

認定留学制度

■ 留学中は本学および留学先教育機関への学費の二重の負担が発生しない制度を設けています。

■ 1年間（2セメスター）までの留学期間中に海外で修得した単位は、審査の上、本学の単位として認定され、4年間での卒業が可能です。

■ 留学に際して、出願をはじめ、各種手続きなど、大学がきめ細かくサポートをします。

早期卒業制度

東京音楽大学は入学後3年間で卒業できる早期卒業制度を導入しています。器楽専攻の学生を対象として学部に3年以上在籍し、専攻実技が極めて優秀であり、本学が定める単位を優秀な成績をもって修得したと認められた場合、3年間の在籍で卒業ができます。

学費

参考：2025年度

	入学金（※1）	授業料（※2）	施設等維持費（※3）	合計
春学期	300,000	743,500	262,500	1,306,000
秋学期	—	743,500	262,500	1,006,000

単位：円

※1 付属高等学校からの1年次進学者 150,000円

※2 作曲指導専攻 作曲「ミュージック・メディアコース」の授業料は、春・秋学期ともに788,500円

※3 音楽文化教育専攻、ミュージックビジネス・テクノロジー専攻の授業料は、春・秋学期ともに543,500円

※3 2年次より、春・秋学期ともに267,500円

※ 学費以外に後援会費（毎年）、入会金（入学時）が必要です。

※ 教職課程費：別途

TCM学生寮

「TCM学生寮」（女子寮）は、実家を離れて暮らす学生の生活および学びの環境を充実させることを目的として、2022年4月に池袋キャンパス敷地内に新たに開寮しました。

地上5階建て、124の全個室にWi-Fiを完備し、全室オートロックを導入するなど、セキュリティも充実しています。さらに学生寮を「キャンパス内」に配置することで、学修と生活を近づけるとともに、安全かつ安心な環境が整いました。

入寮する皆さんの毎日に彩りを与え、卒業後も記憶に残る学生生活を過ごせるよう、温かい環境を準備してお待ちしています。



さまざまなサポート

■ 学生相談室

学生相談室では、学生生活の中で生じる困りごとや悩みごとについてカウンセラーと話し合い、問題や課題を整理したり、解決に向けて方法を考えたりすることができます。

■ 障がい学生修学支援

障がいのある学生に対して、申請に基づき必要な支援を行っています。

■ 学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険
教育・研究活動中の不慮の事故などに備えるため、学生全員が加入しています。

■ キャンパスメンバーズ制度

国立美術館や東京国立博物館をはじめ、常設展などを無料で利用できます。

後援会

学部生および大学院生の保護者を会員とした組織です。一人ひとりの学生が、安心して充実した学生生活を送ることができます。さまざまな支援活動を行なっています。

■ 学生主催、学生出演の演奏会への支援

■ 音楽コンクール参加への支援

■ キャリアアップを志向した各種資格取得への支援

■ 合宿・海外研修参加費用の助成

■ 大学学園祭「芸術祭」への支援

■ インフルエンザ予防接種への支援

■ 大学への支援（学生相談室、図書館、楽器寄贈）

■ 入学お祝い品・卒業記念品の贈呈

コンクール

東京音楽大学はチャレンジの精神を大切にします。

本学の学生はコンクールに意欲的にチャレンジし、毎年の入賞、入選者は100名を超えます。

音楽家の登竜門とも言われる国内外のコンクールで優秀な成績を収め、

第一線で活躍する卒業生が数多くいます。



師に導かれ、心の響きを究める。

第12回浜松国際ピアノコンクール第1位 ならびに室内楽賞、聴衆賞、札幌市長賞、ワルシャワ市長賞

鈴木 愛美さん

大学院修士課程器楽専攻鍵盤楽器研究領域（ピアノ）1年
2024年3月 東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業 大阪府立夕陽丘高等学校卒業

コンクールを受けるにあたって、現在師事している石井克典先生、高田匡隆先生、橋高昌男先生がとても熱心にレッスンしてくださいました。演奏の実質的なアドバイスはもちろん、一番大切な曲の本来持っているさまざまなキャラクターについて私が感じていることを次々と呼び覚ましてくださったおかげで、最後まで作品に愛情をかけること、舞台で自分の心からの表現をすることを諦めずに演奏することができました。私は高校3年生の時に東京音楽大学の夏期受験講習会に参加し、はじめて石井先生のレッスンを受けました。その時、先生が私の横で奏でる音楽、先生のお話、すべてに衝撃を受け、その場で先生のもとで勉強させてくださいと、お願いしたことをよく覚えています。大学からたくさんのサポートを受け、すばらしい先生方のもとで学べている毎日感謝し、これからも日々精進したいと思います。



支え合う仲間と歩んだ6年間を、
高みへ目指す原動力に変えて。

第22回東京音楽コンクール 金管部門第1位ならびに聴衆賞

東川 理恩さん

大学院修士課程器楽専攻打楽器研究領域（トランペット）2年
2023年3月 東京音楽大学器楽専攻（トランペット）卒業 千葉県柏市立柏高等学校卒業

コロナ禍を経て、新たな挑戦をしたいと思うようになったことが、今回のコンクールに挑戦したきっかけです。コンクールに向けた日々のレッスンでは多くのご指導をいただき、トランペット科でもコンクールおさらい会が開催されるなど、アンドレ・アンリ先生、岡崎耕二先生をはじめ先生方には多大なるご支援を賜りました。大学では専攻や年齢を問わず、切磋琢磨し合う仲間たちと励まし合いながら、それぞれ異なるゴールであっても、音楽家としての高みを目指してともに歩んできました。このような環境で学ぶことができた6年間は、私にとってかけがえのない時間であり、大変誇らしくあるとともに今回の受賞にも大きくつながったと感じています。技術面だけでなく人間的にも成長させてくれた東京音楽大学に深く感謝し、これからも「よい音楽家とは何か」を追求しながら、真摯に音楽と向き合っていきます。

プレミオ・アナローザ・タッディ国際コンクール2024（イタリア） 室内楽部門第1位



カルテット涅

第1ヴァイオリン 佐々木 大芽さん／2017年3月 東京音楽大学器楽専攻（ヴァイオリン）卒業
第2ヴァイオリン 三田 悠さん／2018年3月 東京音楽大学器楽専攻（ヴァイオリン）卒業
ヴィオラ ジリヤン・シーサン／ザルツブルク・モーツアルテウム音楽大学卒業
チェロ 坂井 武尊さん／2018年3月 東京音楽大学器楽専攻（チェロ）卒業

私たちちは付属高校在学中の仲間で、長くカルテットを勉強し弾いていきたいという共通の理念をもった4人によって大学在学時に結成されました。現在はザルツブルクにて、さらなる研鑽を積んでいます。在学中は東彩子先生のもとで、室内楽を基本から学びました。ハイドンを通じて語法や形式をしっかりと学んだのち、古典派からロマン派、近代へと、時代による発展を追うようにレッスンが進んでいきました。また、曲が仕上がるたびに試演会で演奏し、その都度先生から講評をいただきました。その過程を経て、ようやく曲が形となり、身となったことをよく覚えています。今回は私たちにとってははじめて受ける国際コンクールでした。このような結果を得ることができたのは、現在ザルツブルクで師事している師匠、そして東先生が、音楽のことだけでなく、人間とは何か、カルテットとは何かという音楽を超えたさらなる深みをも追求し、惜しまことなく伝えてくださったからに違いありません。東京音楽大学で出会った仲間とともに始めたこの冒險の旅は、海を越えた今もなお続いています。

2024年度 主なコンクール等入賞者

掲載しているのは一部です。ホームページをご覧ください。
※学年は受賞時の学年、副賞はひとつの掲載。



コンクール名	受賞部門	受賞内容	氏名	専攻・学年/卒業年
第12回浜松国際ピアノコンクール		第1位、室内楽賞ほか	鈴木 愛美さん	大学院修士課程1年
第22回東京音楽コンクール	金管部門	第1位、聴衆賞	東川 理恩さん	大学院修士課程2年
第22回東京音楽コンクール	声楽部門	第2位	砂田 愛梨さん	2015年大学院修士課程修了
エリザベート王妃国際音楽コンクール（ベルギー）	ヴァイオリン部門	第6位	吉田 南さん	2024年アーティストディプロマコース修了
第20回ハチャトゥリアン国際コンクール（アルメニア）	ヴァイオリン部門	第1位	関 朋岳さん	2023年アーティストディプロマコース修了
プレミオ・アナローザ・タッディ国際コンクール2024（イタリア）	室内楽部門	第1位	カルテット涅	左ページ参照
第48回ピティナ・ピアノコンペティション	特級	銅賞、オンライン聴衆賞第1位	塩崎 基央さん	ピアノ演奏家コース4年
第21回ACジャパン広告学生賞	テレビCM部門	準グランプリ	外立 真土さん (制作代表者)	ミュージックビジネス・テクノロジー専攻1年
Claussen-Simon-Kompositionsspreis 2025 (ドイツ)		入賞	服部 伶香さん	2015年大学院修士課程修了(作曲)
第3回ウイグエンシュタイン記念左手のピアノ国際コンクール	プロフェッショナル部門	第2位	早坂 真子さん	大学院修士課程2年
現代音楽演奏コンクール“競楽”		審査員特別奨励賞、入賞	福本 栄さん	大学院修士課程2年(打楽器)
第9回ベートーヴェン国際ピアノコンクールアジア	E部門	第2位、リリス賞ほか	本田 純鈴さん	ピアノ演奏家コース1年
第26回日本演奏家コンクール	ピアノ部門 大学生の部	第1位、千葉県知事賞ほか	岡崎 央睦さん	ピアノ演奏家コース2年
第30回KOBE国際音楽コンクール	金管楽器 C部門	最優秀賞、神戸市長賞	山本 章瑛さん	大学院音楽研究科(テューバ)
第3回フレデリック・フェネル国際吹奏楽指揮コンクール（イタリア）	指揮	第2位	甘粕 宏和さん	2000年卒業
第48回ドクター・ルイス・シガール国際音楽コンクール（チリ）	クラシックギター	第1位、聴衆賞	山田 唯雄さん	2017年卒業
第2回ソレイユ日本歌曲コンクール	プロフェッショナル部門	第1位	磯部 佑梨さん	2018年大学院修士課程修了
第40回日本打楽器協会新人演奏会	打楽器部門	最優秀賞、岩城賞	柴田 紗枝子さん	2024年卒業

ほか多数

東京音楽大学コンクール

2024年度 第23回 本選結果



ピアノ部門

- 第1位 菅谷 凜さん
付属高校2年／器楽専攻 ピアノ演奏家コース
第2位 河原 由依さん
学部2年／ミュージック・リベラルアーツ専攻
ピアノ演奏家コース
第3位 大庭 愛さん
大学院研究生

声楽部門

- 第1位 森河 和音さん
修士1年／声楽専攻 独唱研究領域
第2位 吉田 理乃さん
学部4年／声楽専攻 声楽特別演奏家コース
第3位 立道 侑也さん
修士1年／声楽専攻 独唱研究領域

キャリアという言葉のルーツはラテン語の「Carraria」。荷馬車が通った道、つまり「道のり」を意味しています。この言葉はやがて、人の足跡や経歴、人生の道筋を表すようになりました。東京音楽大学キャリア支援センターは、どのような進路選択をするかにかかわらず一人ひとりの未来に向かって「道づくり」を一緒に描き、支援する場です。

幅広いキャリアプランの支援

企業への就職だけでなく、演奏団体からの奏者募集情報の公開や教員養成講座も実施しています。また、企業就職については、音楽関連企業や音楽活動と両立できる一般企業の情報を取り扱っています。

音楽での学びを生かして未来へ

皆さんが音楽の学びを通して身についた「主体性」「協調性」「独創性」、そして目標に向かって努力し続ける「粘り強さ」は演奏活動で生かせるだけでなく、企業から強く求められる資質であり、これらを発揮して多くの卒業生たちがさまざまな道で活躍しています。

一人ひとりに合わせたサポート

キャリアカウンセラーによる個別相談では、進路が決まっていない段階から相談ができます。キャリアコンサルタントの国家資格をもったカウンセラーが、「自分自身が何をやっていきたいのか」の相談から具体的なキャリアプランの提案・アドバイスまで、個人に合わせたサポートを行っています。

キャリアデザイン論（基礎教育科目）

自身と自身を取りまく社会の状況を理解し、将来に向かい、これからの大學生をどのように過ごしていくかを明確化することをねらいとしています。プレゼンテーションやディスカッションを通じ、自身の強みを見いだし「やりたいこと」を「できること」にし、将来につなげます。世の中を広く深く見つめ、社会的視野を養うことで、描くキャリアに向け、自らが具体的な行動を起こせるようになることを目指します。

活用
したい!

キャリアカウンセラーによる個別相談

ここでは、対面またはオンラインでの進路の相談や履歴書、エントリーシート作成のアドバイス、面接練習など、一人ひとりに合わせた内容の個別相談を受けることができます。私は就職活動に関して自分で調べるだけでは不安があったため、2年次から週に数回のペースで活用していました。授業の空き時間や練習の合間に通えるところがポイントです。キャリア支援センターのおかげで“音大生ならではの強み”に気がつくことができ、不安がやる気に変わりました！ぜひ活用してみてください。

千葉 幸恵さん 器楽専攻ピアノ4年 株式会社日テレ・テクニカル・リソーシズ内定

学内企業研究会
2024年度実績

ヤマハ株式会社／ヤマハ音楽振興会／自衛隊音楽隊／株式会社宮地商会（宮地楽器）／任天堂株式会社／株式会社カブコン／株式会社コロプラ／株式会社コーエーテクモホールディングス／公益社団法人日本オペラ振興会／二期会オペラ研修所／株式会社三井住友銀行／SMBC日興証券株式会社／城南信用金庫／日本生命保険相互会社／戸田建設株式会社／株式会社エービーシー商会 ほか

Course キャリア支援センターの主要な講座

卒業生

●卒業後3年以内のサポート

4年次

- 面接対策講座
- フリーランスのための税講座
- なんでも相談会

3年次

- インターンシップガイダンス
- 業界・職種研究基礎講座

2年次

- 進路ガイダンス
- SPIドリルガイダンス
- 合同企業研究会

1年次

- キャリアガイダンス
- キャリアデザイン論

合同企業研究会

大学にて、企業の担当者が各業界や企業の特色について説明を行います。個別ブースで詳しい相談を行うことも可能（2024年度実績：左下ページ参照）。さまざまな業界の具体的な情報を直接聞くことで、キャリアの視野を広げることができます。

Message 内定者からのメッセージ

畠川 莉里花さん

器楽専攻ピアノ4年
盈進中学高等学校卒業



エルメスジャポン株式会社
(販売職)

星原 夏月さん

大学院修士課程器楽専攻
鍵盤楽器研究領域（ピアノ）2年
東京音楽大学付属高等学校卒業



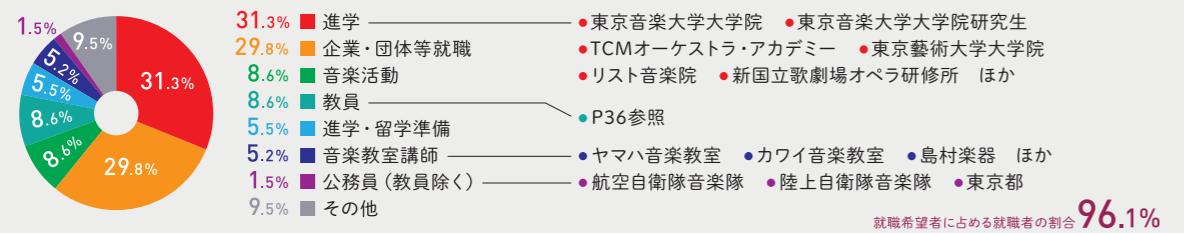
株式会社河合楽器製作所
(総合職)

学部では教養科目を通じて思考力と語学力を養い、大学院では論文執筆を通じて音楽を多角的に捉える視点を修得しました。就職活動を行う上では、まずキャリア支援センターが主催するセミナーに参加し、就職活動の流れを理解しました。修士1年の夏には複数のインターンシップに参加し、その中で河合楽器製作所の早期選考に声をかけていただきました。キャリア支援センターの先生と授業の合間に何度も面接練習を重ね、質問への対応力を鍛えたり、自分では気づきにくい強みを引き出していただけたことで、効果的にアピールすることができました。河合楽器製作所には海外展開や国際コンクールなどの事業があり、ピアノの知識や語学力を生かせる点が魅力的だと感じて入社を決めました。

最新の就職実績はこちらをご覧ください。



卒業生の進路 (2024年3月 学部卒業生)



企業・団体の主な一覧 (2024年3月 学部卒業生)

製造	株式会社河合楽器製作所 ● スタンレー電気株式会社
建設	五洋建設株式会社 ● 日比谷総合設備株式会社
運輸・郵便	株式会社上組 ● 日本航空株式会社
販売	ロクシタンジャパン株式会社 ● 大丸株式会社 ● 株式会社三越伊勢丹 ● 島村楽器株式会社
情報通信	横河レンターリース株式会社 ● 株式会社NTT東日本-南関東
金融・保険	みずほ銀行 ● 株式会社大分銀行 ● 中央労働金庫
専門サービス	明治安田生命保険相互会社 ● KPMG税理士法人 ● PwCコンサルティング合同会社
宿泊・飲食サービス	東急リゾート&ステイ株式会社
ゲーム	任天堂株式会社 ● 株式会社コーエーテクモゲームス
娯楽/エンターテインメント	株式会社KAJIMOTO ● 四季株式会社 ● 株式会社サンリオ
法人	電音エンジニアリング株式会社 ● 公益財団法人しま未来文化財団 ● 日本年金機構
ほか	ほか

卒業生からのメッセージ



株式会社カプコン コンポーザー

大本 望美さん 2020年3月 作曲「映画・放送音楽コース」*卒業 お茶の水女子大学附属高校卒業 *現:作曲「ミュージック・メディアコース」

毎週の作曲とアレンジ課題、シビアな締め切りへのプレッシャーなど、入学直後から与えられた楽しくも厳しい試験を経て、商業音楽の世界で即戦力となる技術や姿勢を学びました。私は学生の頃からゲームが大好きで、そのうち「自分で音楽演出を考え自分の書いた曲を鳴らしたい」という思いが強くなり、在学中は得意分野の管弦楽とDTMの勉強にほとんどの時間を費やし、今に至ります。一方で、レコーディング実習で細やかなディレクション指導を受けたことや、有志メンバーで企画したオーケストラコンサートの成功など、自分だけでは成し得なかった経験が確かに今の私を支えています。作曲と向き合う日々は時に孤独もありますが、ひとたび大学に赴けばそこには才能あふれる仲間たちがいて、現場で活躍されているすばらしい先生方がいらっしゃいます。ぜひこの環境を存分に活用して、音楽家としての道を切り拓いていってください。



株式会社三越伊勢丹 プロモーション担当

木下 奈那葉さん 2024年3月 ミュージック・リベラルアーツ専攻 ピアノ卒業 北鎌倉女子学園高等学校卒業

進路の転機となったのは、3年生の時にウクライナへのチャリティーコンサートを企画したことでした。涙を流すお客様の姿を見て、卒業後も人の心を動かす企画がしたいと思い、就職の道を選びました。音楽大学では在学中から、専門実技を「仕事」にして活動する機会に恵まれます。尊敬する先生や友人に刺激をもらいながら自己研鑽に励む環境で、会社でも通じる課題に向き合う責任感や探究心が身につきました。企業選びの軸は、『芸術への対価を大切にすること』でした。曲に歴史的背景があり、演奏家が一音一音を追求して地道な練習をするように、取引をする職人の方にも物づくりへの背景やこだわりがあります。その過程に目を向け企画をし、作品にある本質のときめきを、誰よりも愛をもって橋渡しできるバイヤーを目指しています。入社一年目の現在は世界各地の作家の方と出会いながら現場での経験を積んでいます。

演奏団体 (卒業生のこれまでの主な進路実績)

- NHK交響楽団
 - 新日本フィルハーモニー交響楽団
 - 東京交響楽団
 - 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
 - 東京都交響楽団
 - 東京ニューシティ管弦楽団
 - 東京ユーパーサル・フィルハーモニー管弦楽団
 - 東京フィルハーモニー交響楽団
 - 日本フィルハーモニー交響楽団
 - 読売日本交響楽団
 - 札幌交響楽団
 - 仙台フィルハーモニー管弦楽団
 - 山形交響楽団
 - 群馬交響楽団
 - 神奈川フィルハーモニー管弦楽団
 - オーケストラ・アンサンブル金沢
 - セントラル愛知交響楽団
 - 名古屋フィルハーモニー交響楽団
 - 大阪交響楽団
 - 大阪フィルハーモニー交響楽団
 - 関西フィルハーモニー管弦楽団
 - 日本センチュリー交響楽団
 - 兵庫芸術文化センター管弦楽団
 - 広島交響楽団
 - 九州交響楽団
 - 千葉交響楽団
 - 富士山静岡交響楽団
 - 中部フィルハーモニー交響楽団
 - 東京佼成ウインドオーケストラ
 - シエナ・ウインド・オーケストラ
 - 東京吹奏楽団
 - 自衛隊音楽隊
 - 警察音楽隊
 - 東京消防庁音楽隊
 - 劇団四季
 - シカゴ交響楽団
 - ウィーン・トン・キュンストラー管弦楽団
 - ノールショビング交響楽団
 - ハイデルベルク・フィルハーモニー交響楽団
 - シンガボール交響楽団
 - 台湾国家交響楽団
 - レーゲンスブルク歌劇場管弦楽団
 - フラデツ・クローヴェ・フィルハーモニー管弦楽団
 - シュトゥットガルト室内管弦楽団
- ほか

音楽を通した地域・社会との交流

目黒区・豊島区にキャンパスを構える東京音楽大学は、演奏会やイベントなどを通じて、地域とともに歩み、交流を深めています。 ※掲載は一例です。

地域を超えて
広がる音楽の輪

癒しの森コンサート

長野県信濃町での東京音楽大学シンフォニーオーケストラ合宿の期間中にコンサートを開催しています。

東京音楽大学×藤田医科大学コラボレーション・セミナー

2023年度に協定を締結。藤田医科大学による健康セミナーと本学によるコンサートを行っています。

磯子区民文化センター 杉田劇場との連携演奏会 (ACT Project)

ACT Projectと杉田劇場が連携し、1年に複数回演奏会を開催しています。



「社会に開かれた大学」を目指して

東京音楽大学は「音楽文化の振興」と「地域社会の活性化」に向け、音楽を通じて地域社会の課題解決に取り組むべく、多くの学生が多様なプロジェクトに参加しています。在学中に社会との接点をつくることで、演奏活動だけでなく卒業後のキャリア形成にもつながります。2022年度に組織されたSDGs推進学生委員会を中心に、13の推進施策に基づく各プロジェクトを進めています。

4者4様！TCM People

1年生



加藤 那林さん

作曲「ミュージック・メディアコース（MMC）」
東京都立神代高等学校卒業

課題も、遊びも、全力で。
最高の時間を、MMCで過ごす日々。

私は入学後にはじめてPCとDAWと楽譜制作ソフトを購入しました。弾き語りの作曲しか経験がなく人一倍時間がかかりましたが、先生方のご指導や同期の助けによりビッグバンドや弦楽四重奏の作曲課題も克服しました。学生それぞれの個性を生かすような授業やレッスンはとても刺激的で、東京音大のMMCでしか経験できない毎日を送っています。毎週水・木曜日の課題提出に追われる日々ですが、日常に楽しみがないと頑張れません！効率の悪い私はそのためにタスク管理を欠かさずしています。「音楽も遊びも趣味もすべて妥協しない！」が私のモットーです。課題の大変さに挫けそうになることもあります、仲間とともに音を楽しむ時間がMMCの最大の魅力だと思っています。



加藤さんの火曜日のタイムスケジュール



加藤さんの時間割

月	火	水	木	金	土
1限	西洋音楽史概論	ソルフェージュ	英語コミュニケーション	教養演習	
2限		コンピュータープラットフォーム構成		副科実技（ピアノ）	作曲実技
3限	音楽実習	世界音楽概論			リズムヘッドアレンジ
4限	シンセサイザー				
5限	イタリア語会話（初級）	ピアノコードワーク			
6限	音楽史概論				

佐々木 美紅さん

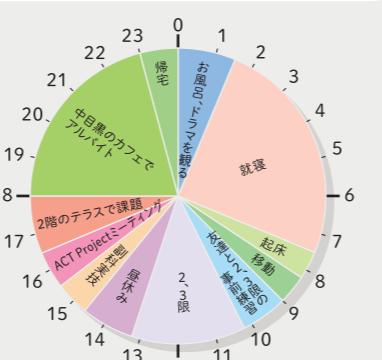
声楽専攻
国立音楽大学附属高等学校卒業

実技はもちろん、現場の流れも学ぶACT Project。
音楽マネジメントを実践で磨く、充実の毎日。

声楽に加え、アーティマネジメントの仕事を学年・専攻を超えたチームで学ぶACT Projectの活動にも励んでいます。私はプロデューサーとして、キャスティングやスケジュール管理、当日の運営など、自身の企画するコンサートの全体を統括しています。今学期はファミリーコンサートを制作。特に広報に力を入れ、チラシ配布やSNSに加え、会場近くの児童館で宣伝を兼ねたミニコンサートを行ったところ、本公演と合わせて約500名のお客さまにご来場いただきました！また、休日は中目黒でアルバイトをすることで、退勤後に大学へ寄って練習をする習慣をつけています。声楽実技と実社会で役立つ学び、どちらにも打ち込んで充実した日々を送っています。



佐々木さんの月曜日のタイムスケジュール



佐々木さんの時間割

月	火	水	木	金	土
1限			英語コミュニケーション		
2限	オペラ実習		ACT Project	音楽療法	ドイツ語（中級）
3限		日本文化論		ソルフェージュ	合唱
4限	副科実技（ピアノ）	イタリア語（初級）		和声	
5限		声楽実技		オペラ史	
6限					

音楽に学校行事に課外活動…学年も専攻も異なる4名の東京音大生ライフをご紹介♪

3年生



安村 直生喜さん

器楽専攻（ヴァイオリン）
ルネサンス大阪高等学校卒業

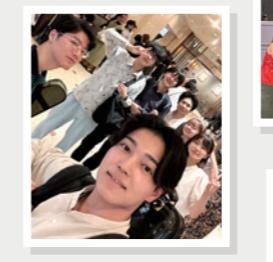
忙しくも、充実した日々。
奏で、支え合い、広がり続ける音楽の輪。

友人と首都圏の音大生を集めた有志オーケストラを結成し、自身も奏者として参加しつつ企画・運営の活動を行っています。コンサートはひとりではできないもの。裏方として支えて下さる方やオケ奏者の皆さん、足を運んで下さったお客様。間違なく僕の大学生活の中で大きな糧となっています。大学では2人以上のグループを組んで室内楽の授業を取ることができます。僕はデュオとクインテットを2グループずつ、カルテットを1つの計5グループ組んでいました。それだけ組んでいたのは僕ぐらいで欲張りすぎたと正直後悔しかけた日もありましたが、忙しくも充実した日々を過ごせています！日々の生活の中で意識していることはコミュニケーションです。学校の友人、先輩後輩、先生方、仕事先でお会いの方々と関わる中で、臆せぬ話す力が鍛えられ、交友の輪も広がったと実感しています。



安村さんの時間割

月	火	水	木	金	土
1限					
2限					
3限				日本文化論	
4限	管弦楽合奏			現代社会と法	弦楽器実技
5限					
6限					



▲同門の同期たち



▲とあるお仕事にて▲



▲主催している有志オーケストラ

4年生



細谷 朋玄さん

器楽専攻（ホルン）
豊南高等学校卒業

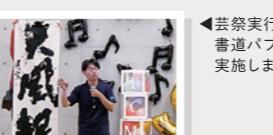
仲間とともに創り上げた芸術祭。
苦しんだからこそ味わえた達成感は、一生の宝物。

3年次で芸術祭実行委員長をさせていただきました。朝から晩まで大学にこもって企画書作成や組織運営に追われる毎日でしたが、専攻の垣根を超えた、たくさんの仲間を得ることができました。コロナ禍で伝統が途絶えかけた芸術祭。みんなでゼロから創り上げた時間は、まさに青春ドラマのようでした。ホルンの練習時間がなかなかとれないことがあったものの、少しの時間でも「集中してやってやる！」というオンオフの切り替えが身についたと感じます。仲間との出会いも経験も、ここでしか得られなかつたものばかり。充実した最高の4年間を送ることができました！



細谷さんの時間割

月	火	水	木	金	土
1限					
2限					
3限				管打楽器実技（中・高）	
4限					
5限					
6限					

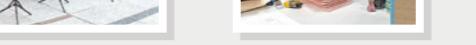


◀芸祭実行委員長による書道パフォーマンスを実施しました！

ホルン学外演奏会▶



芸祭部部長たちで演奏



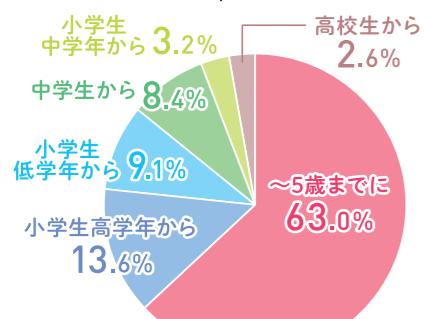
▲卒対委員の作業の様子

1、2年の時に最大限取ったから授業が少ないよ！

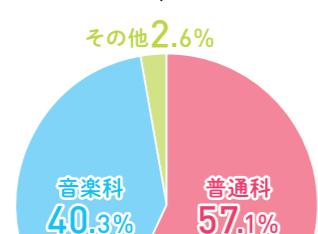


東京音大生150人に聞いた! なんでもアンケート

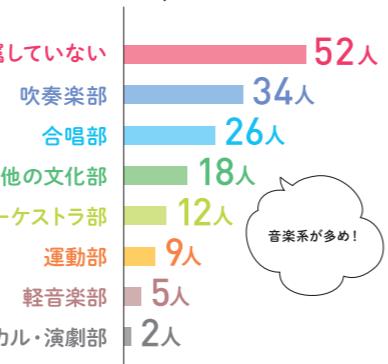
Q. 音楽を始めた時期はいつ?



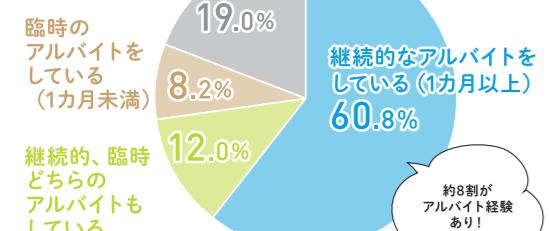
Q. 出身高校は何科?



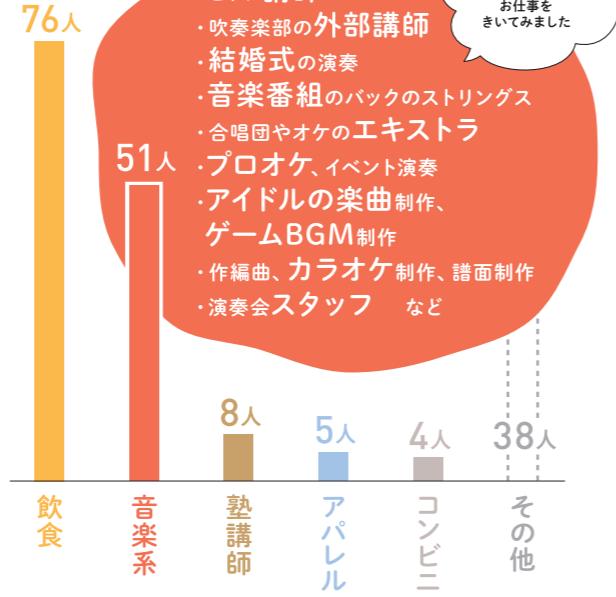
Q. 高校時代の部活動は?



Q. アルバイト経験は?



Q. どんなアルバイト?



年間行事

- 4月 ●入学式
- ガイダンス
- 学生健康診断
- 春学期履修登録

- 5月 ●創立記念日



- 6月
- 7月 ●シンフォニックウインドアンサンブル定期演奏会
- 学科試験

- 8月 ●ピアノ演奏会～ピアノ演奏家コース成績優秀者による～
- 夏期休暇



- 9月 ●オーケストラ合宿
- 学内オーディション合格者によるソロ・室内楽定期演奏会
- 秋学期履修登録



Q. 音大生でよかったと思う瞬間は?

「ついに音楽に触れていられるので、自分の学生生活が彩り豊かに感じること。」

「好きなポップス曲などを自分でアレンジして演奏できた時!」

「本気で音楽に取り組んでいる人たちを間近でみることができ、自分ももっと頑張らなくてはと思う。」

「いろいろな楽器の人と演奏できて、一般の大学にはない楽しさを味わえる!!」

オペラ歌手の話がアイドルみたいなノリで盛り上がる! 常に思っています。音楽が自分の人生そのものなので。

「プロオケ(日フィル)と一緒に舞台に乗って合唱の経験を積めること。」

「好きなことを恵まれた環境で学べていること。大好きな尊敬する友人、先生に出会えたこと。」

「他の大学の友達やアルバイト先の人から音大に興味をもってもらいやすく、会話がよく弾む!」

Q. 東京音大を一言であらわす?

「都会の音大」

豪華!
教授陣が

「音楽バカ」

カラフル!

「最高の学び舎」

「自由に真剣」

「学生同士が互いを尊重できる大学」

「いい意味で変人」

「華の音大生活」

「色彩多才」

「新しいことにどんどんチャレンジする校風!」

「人生の先輩としていろんなことを惜しみなく教えてください」とうそと相談事に対して建設的なアドバイスをしてくださると

「夕方すぎるスケジュールをこなしながらいつも元気。」

Q. 東京音大の先生のすごいところやエピソードを教えて!

先生の一言で、自分の音楽が見違えるようになれるのが、魔法のようですね。東京音大で人生の師匠に出会いました。

学生思いの先生が多い!

「サラッと弾いてくださる曲がコンサート並み。」

- 10月 ●東京音楽大学コンクール優勝者コンサート

- 11月 ●芸術祭
- 東京音楽大学コンクール
- 学内「第九」演奏会



- 12月 ●学部卒業実技試験(対象:4年生)
- シンフォニーオーケストラ定期演奏会
- 冬期休暇

- 1月 ●学科試験



- 2月 ●定期実技試験(対象:1～3年生)

- 3月 ●卒業演奏会
- 卒業式
- 春学期休暇



卒業生メッセージ

音楽の道を、究めつづける。羽ばたく卒業生たちの今。



ピアニスト 藤田 真央さん
ピアノ演奏家コース・エクセレンス 2020年大学早期卒業

今につなげてくれた大学での学び。

現在、世界各国でコンサート活動をしていますが、在学中に2回挑戦した国際コンクールのおかげで、今につながっています。前学長の野島稔先生をはじめ、鶴見加寿子先生には大変お世話になり、コンクールへのサポートをいただいたことに本当に感謝しています。大学の授業もとても楽しく興味深く、音楽だけでなく教養科の授業もプロフェッショナルな先生方ぞろいです。外国語の授業では、ロシア語、英語、ドイツ語を学んでいたおかげで、海外に行っても役立っていることを実感しています。欲を言えば、もっと勉強したかったかなと。駆け足で過ぎ去った大学生活でしたが、多くの友人との出会いにも恵まれ、ともに過ごした時間は貴重な財産となっています。

© EIICHI_IKEDA

ヴァイオリニスト 辻 彩奈さん
アーティストディプロマコース 2023年修了 / 2020年大学卒業

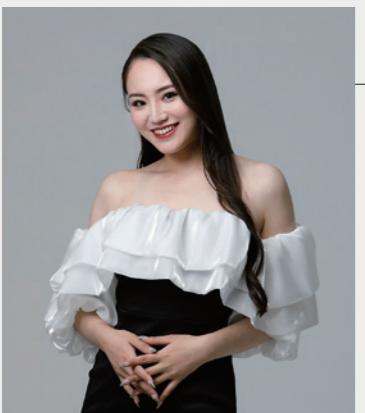
すてきな出会いとたくさんの挑戦を見守ってくれる環境。

東京音楽大学での4年間は、音楽だけでなく人としても成長できた4年間だったと思います。音楽活動をしていく中で学業との両立は大変でしたが、実技の先生だけでなく、大学の先輩方やたくさんの先生方との出会いが私にとってかけがえのないものでした。壁にぶつかったことも辛いこともたくさんありました。大学に行くといつも温かく見守ってくださる先生方がいて、常に前を向いて乗り越えることができたなと思います。のびのびといろんなことに挑戦でき、それを温かく見守ってくださる環境が東京音楽大学にはあります。

これからも、この人とまた一緒に演奏したい、そう思ってもらえる音楽家でいたいと思っています。



© Makoto Kamiya



オペラ歌手 高野 百合絵さん
大学院声楽専攻独唱研究領域 2019年修了 / 2017年大学卒業

声の成長にいつも寄り添ってくれた先生。

付属高校から同大学院まで菅原実子教授のご指導の下、学びました。大学で有意義な時間を過ごしたことが、今の自分のベースになっています。声の成長は人それぞれです。音楽をやっているといい時も悪い時もあります。そんな時、いつも先生が親身になって寄り添ってくださったおかげで今も歌を続けることができています。学生時代は、たくさんのコンクールやオーディションに挑戦し、学内外や人前で演奏する場をいただいたことで、自信につながりました。大学には、個性を尊重しながらいろんな音楽性を引き出してくれるような自由な雰囲気がありました。プロフェッショナルな先生方に手厚くバックアップしていただいたおかげで、やりたいことは全力で取り組むことができました。皆さま！大学生活はあっという間ですが、一歩一歩自分らしく歩んでいってください。

名古屋フィルハーモニー交響楽団 正指揮者
オーケストラ・アンサンブル金沢 パーマネント・ゲストコンダクター
札幌交響楽団 正任指揮者

川瀬 賢太郎さん
指揮 2007年大学卒業

人間力を鍛えるレッスンで今の指揮者としての自分がいる。

東京音楽大学での4年間がなければ、今の私はいませんでした。指揮のレッスンは、音楽のことはもちろんですが、自分のことを理解し、社会の中でどうやって生きていくか、いわば人間力を鍛えるレッスンだったように思います。オーケストラというのは、社会の縮図のようなものだと思っています。いろんな考えをもっていて当然。中には真逆な考えをもっている人もいます。自分と考えが違うからおもしろくないと思うのか、自分と考えが違うからこそもっと知りたいと思えるのかは、大きな違いです。東京音楽大学で日々レッスンに打ち込んだからこそ、考え方の違う人たちのことに興味をもてる人間になりました。そうでなければ、指揮者という職業は務まらないと思いますし、だからこそ今の私があるかもしれません。



写真提供:名古屋フィルハーモニー交響楽団



作曲家 菅野 祐悟さん
作曲「映画・放送音楽コース」(2021年度より作曲「ミュージック・メディアコース」に統合) 2001年大学卒業

プロフェッショナルの世界の洗礼を受けた学生時代。

学生時代、私にとって一番めになつたのは、授業で毎週必ず、曲を書く課題に取り組んだことです。プロフェッショナルになると毎日何曲も作り続けなくてはなりません。私は入学直後から曲を締切りまでにコンスタントに作り続けるという「プロフェッショナルの世界の洗礼」を受けていたわけです。在学中は学内でトップクラスの器楽専攻の学生に自分が書いた曲を演奏してもらったり、上手なシンガーを見出してデモテープを作ったりと課外活動も積極的に行っていました。この世界でやっていく一番の条件は「情熱」です。限りあるこの4年間で、いろいろなチャンスを貪欲にたぐり寄せ、東京音楽大学で学ぶメリットを最大限に利用してほしいと思います。



NHK交響楽団首席オーボエ奏者 吉村 結実さん

器楽専攻(オーボエ) 2012年大学卒業

演奏家として大きく成長できる、チャンスに出会える場。

東京音楽大学で過ごした4年間の経験が、現在の私の演奏家としての大きな土台となっています。すばらしい先生方の熱心なご指導により、演奏技術はもちろんのこと、切磋琢磨し合える仲間たちとの出会いを通して人としても大きく成長することができたようになります。東京音楽大学は、個人レッスンだけでなくオーケストラや吹奏楽、室内楽などの実技の授業もとても充実しています。また、学内コンクールや選抜演奏会など、可能性を引き出してくれるチャンスが数多くあります。自分自身と音楽に真摯に向き合えば、それらはすべて生かされる時が必ず来るはずです。ぜひ東京音楽大学でさまざまなことにチャレンジしてみてください。



陸上自衛隊 中央音楽隊 牧 優吾さん
器楽専攻(チューバ) 2021年大学卒業

志の高い仲間とすばらしい先生方と。

吹奏楽やオーケストラなど、合奏系の授業は一番力を入れて取り組みました。特にAクラス(「吹奏楽」授業の3・4年次)では、指導者実習という時間に普段することができない指揮にもチャレンジすることができます。音楽をつくる上の視野が一気に広がる貴重な機会になりました。東京音楽大学の魅力はすばらしい先生方がたくさんいらっしゃることと、志の高い仲間が多いことだと思います。目から鱗のアドバイスや、モチベーションが高まる刺激を先生方からはもちろん、先輩・同輩・後輩からもたくさんもらえます。今は陸上自衛隊の音楽隊員として活動しており、いい音楽をすることで、「音楽」と聞いてくれる人に恩(音)を返していくことが一番幸せなことだと考えています。



東京都交響楽団 打楽器奏者 幸多 俊さん
器楽専攻(打楽器) 2022年大学卒業

この音で、なにを伝えるか。都響で実感する学びの力。

都響では、一つひとつの音の意味を考えながら、オーケストラ全体のバランスの中で演奏することが求められます。ただ音を鳴らすのではなく、「この音でなにを伝えるのか?」を考えることが重要。こうした意識をもてるようになりました。東京音楽大学で過ごした4年間は、技術を磨くだけでなく、音楽と深く向き合う力を培う時間でした。楽譜の背後にある意図や響きをどう表現するかを追求する姿勢は、今の演奏にも生かされています。東京音大は先生方のサポートが手厚く、学ぶ意欲があればとことん追求できる環境。音楽と深く向き合い、表現を探求するには最適な場所だと思います。

作曲指揮専攻 作曲「芸術音楽コース」



中橋 愛生	教授
野平 一郎	教授
原田 敬子	教授
藤原 豊	准教授
糸場 富美子	准教授
柴山 拓郎	准教授
細川 俊夫	専任講師
有馬 純寿	講師
植田 彰	講師
中橋 愛生 野平 一郎 原田 敬子 藤原 豊 糸場 富美子 柴山 拓郎	特別招聘教授 客員教授 特任教授

ミュージック・リベラルアーツ専攻



リック・オヴァトン	教授
大竹 紀子	教授
柴崎 かがり	准教授
高岡 明	准教授

作曲指揮専攻 作曲「ミュージック・メディアコース」



石川 洋光	教授
藤原 豊	教授
堀井 勝美	教授
糸場 富美子	准教授
難波 弘之	准教授
大和田 俊之	准教授
石川 洋光 藤原 豊 堀井 勝美 糸場 富美子 難波 弘之 大和田 俊之	特別招聘教授 客員教授 客員教授

作曲指揮専攻 指揮



リック・オヴァトン	教授
広上 淳一	教授
田代 俊文	客員教授
増井 信貴	客員教授
川瀬 賢太郎	特任教授
松井 廉太	特任教授
ジョン・アクセルロッド	特別招聘教授
ポリス・ペルキン	特別招聘教授
岩佐 和弘	特任准教授
田島 宜祥	専任講師
坂元 勇仁	専任講師
高島 敏	特別招聘講師
藤井 宏一郎	特別招聘講師
碇山 隆一郎	講師
石坂 宏	講師
井上 势津	講師
太田 巡	講師

音楽文化教育専攻



ミュージックビジネス・テクノロジー専攻



小串 俊寿(サクソフォーン)	教授
久保 昌一(打楽器)	教授
中橋 愛生(作曲/理論)	准教授
下野 龙也(指揮)	准教授
天野 正道(作曲)	准教授
星出 尚志(作曲/ボップス)	准教授

基礎教養科目など



羽石 祐一	教授
柴山 拓郎	准教授
有馬 純寿	准教授
柴田 良二	特任准教授
新井 聰真	准教授
秋山 大知	講師
松澤 智史	講師
平井 康文	特別教授



岡島 礼(ソルフェージュ)	教授
豊永 聰美(教養教育)	教授
羽石 祐一(教養教育)	教授

教職課程科目



白倉 孝弘	教授
和田 崇	准教授
伊藤 民子	准教授

表紙の写真について

中目黒・代官山キャンパスの中に位置する「音楽のみち」には、バッハ、モーツアルト、ベートーヴェンの著名な作品が刻まれています。表紙の写真は、石のパターンで抽象化されたベートーヴェン作曲交響曲第9番の第4楽章の主題を空撮したものです。



Website



YouTube



Instagram



X



東京音楽大学

中目黒・代官山キャンパス(学校法人本部)
〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1
TEL.03-6455-2700 FAX.03-6455-2770

池袋キャンパス
〒171-8540 東京都豊島区南池袋3-4-5
TEL.03-3982-3186 FAX.03-3982-3183



Google Map



Google Map

池袋キャンパス
JR / 「池袋駅」東口または「目白駅」より徒歩約15分
私鉄 / 西武池袋線・東武東上線「池袋駅」より徒歩約15分
地下鉄 / 丸ノ内線・有楽町線「池袋駅」より徒歩約15分
副都心線「雑司ヶ谷駅」より徒歩約5分
都電 / 荒川線「鬼子母神前停留場」より徒歩約3分
都バス / 「南池袋一丁目」より徒歩約3分

中目黒・代官山キャンパス
JR / 「恵比寿駅」より徒歩約14分
私鉄 / 東急東横線「中目黒駅」・「代官山駅」より徒歩約5分
地下鉄 / 日比谷線「中目黒駅」より徒歩約5分

